

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-142208

(43)Date of publication of application : 17.05.2002

(51)Int.Cl.

H04N 7/173
G06F 13/00
G06F 17/60
H04H 1/00
H04N 5/44
H04N 5/445
H04N 7/025
H04N 7/03
H04N 7/035

(21)Application number : 2000-334849

(71)Applicant : FUJI TELEVISION NETWORK INC

(22)Date of filing : 01.11.2000

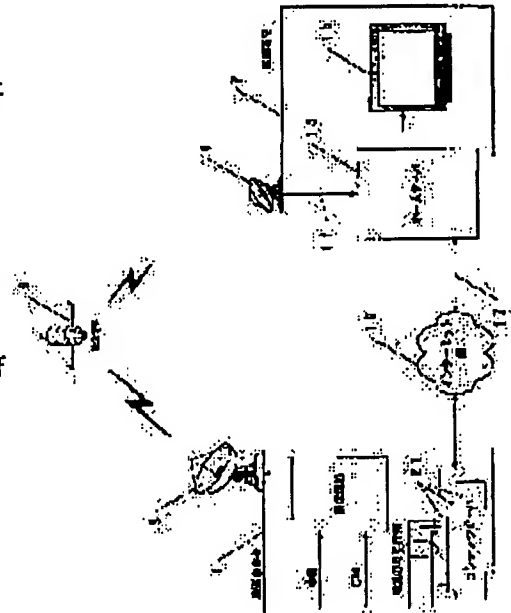
(72)Inventor : ITAGAKI YOJI
OKAMURA TOMOYUKI

(54) INFORMATION PROVIDING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an information providing method which is capable of providing broadcast contents through television broadcasting or the like and information related to the broadcast contents through a communication medium so as to meet users' diversified needs for information.

SOLUTION: A broadcasting corporation 1 provides various information related to the broadcasting program which his own broadcasting station broadcasts as communication contents for a content server 21 and makes the server 21 store them. A viewer selects one of broadcasting programs stored in a home server 13 and reproduces it so as to watch, by operating a remote control (not shown in Figure) attached to the home server 13. The viewer is capable of getting access to various information provided through the content server 21, temporarily stopping reproducing the broadcasting program while reproducing and watching the broadcasting program. After the viewer reads data obtained through the content server 1, he starts reproducing the broadcasting program again at a point at which the reproduction of the broadcasting program is temporarily stopped when he gets access to the information provided through the content server 21, so that he is capable of watching the rest of the broadcasting program.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-142208

(P2002-142208A)

(43)公開日 平成14年5月17日(2002.5.17)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
H 0 4 N 7/173	6 2 0	H 0 4 N 7/173	6 2 0 Z 5 C 0 2 5
G 0 6 F 13/00	5 4 7	G 0 6 F 13/00	5 4 7 T 5 C 0 6 3
17/60	1 3 2	17/60	1 3 2 5 C 0 6 4
	3 0 2		3 0 2 E
	3 2 6		3 2 6

審査請求 未請求 請求項の数44 O L (全 23 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-334849(P2000-334849)

(22)出願日 平成12年11月1日(2000.11.1)

(71)出願人 000136468

株式会社フジテレビジョン

東京都港区台場2丁目4番8号

(72)発明者 板垣 陽治

東京都港区台場2丁目4番8号 株式会社

フジテレビジョン内

(72)発明者 岡村 智之

東京都港区台場2丁目4番8号 株式会社

フジテレビジョン内

(74)代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外8名)

Fターム(参考) 5C025 CA09 CA18 CB02 DA01

5C063 AB05 AC01 AC10 EB37

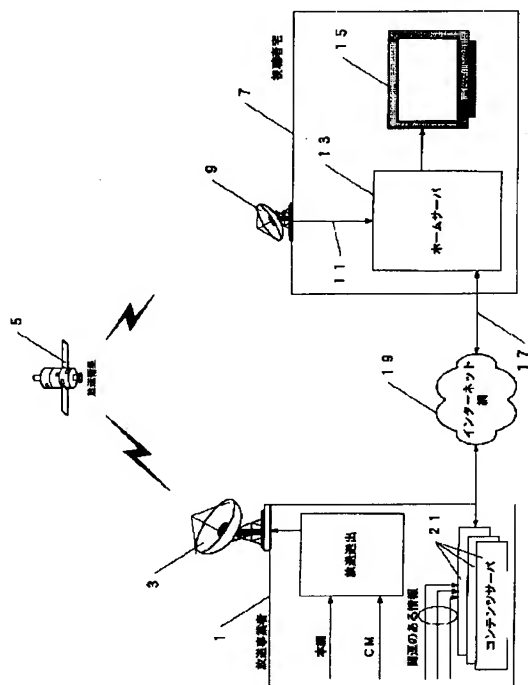
5C064 BC10 BC18 BC23 BD02 BD07

(54)【発明の名称】 情報提供方法

(57)【要約】

【課題】 テレビなどの放送では放送コンテンツを提供し、放送コンテンツに関連のある情報は通信媒体によって提供することで、ユーザの多様化した情報要求ニーズに応えることができる情報提供方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 放送事業者1は、自局の放送する番組と関連のある情報について、コンテンツサーバ21に多彩な情報を通信コンテンツとして提供し蓄積させておく。視聴者は、ホームサーバ13に付属した図示しないリモコンを操作することで、ホームサーバ13に蓄積されている放送番組を選択しこれを再生視聴する。視聴者はまた、放送番組の再生視聴中に、番組の再生を一時停止させて、コンテンツサーバ21を介して提供される各種の情報にアクセスできる。そして、コンテンツサーバ21から得られたデータを閲覧した後は、前回番組を一時停止した場所から再び番組の再生を開始して番組の残りの部分を視聴できる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 放送媒体を介して情報受信装置で受信されることを目的として、放送コンテンツを前記放送媒体のうちの所定のチャンネルを介して放送する一方で、通信媒体を介してコンテンツサーバとの間で情報交換可能な前記情報受信装置で受信されることを目的として、前記放送コンテンツに関連する情報を含む通信コンテンツを、前記通信媒体を介して前記コンテンツサーバへ提供することを特徴とする情報提供方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の情報提供方法において、前記情報受信装置は、インターネット接続機能を備えた放送受信装置、ホームサーバ、パソコン、又は PDA のいずれかであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 3】 放送受信装置で受信されることを目的として、放送コンテンツを放送媒体のうちの所定のチャンネルを介して放送すると共に、前記放送の放送主体又は該放送主体の指揮監督若しくは委託を受けた情報提供主体と通信媒体を介して接続可能である通信端末装置で受信されることを目的として、前記放送コンテンツに関連する情報を含む通信コンテンツを、前記通信媒体を介して前記通信端末装置へ提供することを特徴とする情報提供方法。

【請求項 4】 請求項 3 に記載の情報提供方法において、前記放送受信装置は、テレビ受像装置、ビデオレコーダ、又はホームサーバであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 5】 請求項 3 に記載の情報提供方法において、前記放送受信装置は、ラジオ受信装置であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 6】 請求項 3 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、前記通信端末装置は、パソコン、PDA、携帯電話、PHS、又はインターネット接続機能を備えた放送受信装置若しくはホームサーバであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 7】 請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、前記放送媒体は、アナログ又はデジタル方式の地上波、衛星波若しくはケーブルテレビ回線のいずれかであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 8】 請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、前記放送媒体は、アナログの AM 若しくは FM 方式又はデジタル方式のラジオ波又は有線放送回線のいずれかであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 9】 請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、

前記通信媒体は、電話回線、PHS 回線、又は携帯電話回線のいずれかであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 10】 請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、前記通信媒体は、電話回線、PHS 回線、又は携帯電話回線を含む通信手段を経由したインターネットであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 11】 請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツは本編及び／又は CM であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 12】 請求項 11 に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツはニュースないし報道番組であって、前記通信コンテンツは放送時間枠その他の理由又は制約のために放送されることがなかったニュースないし報道内容に関連する情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 13】 請求項 12 に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、情報の信憑性を十分に確認できなかったために放送されるには至らなかった未確認情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 14】 請求項 12 に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容についての前記放送コンテンツよりもさらに詳細な情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 15】 請求項 12 に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容のこれまでの経緯についての情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 16】 請求項 12 に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容に関連をもった過去の出来事ないし事件についての情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 17】 請求項 12 に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容の対象とされている人物についてのプロフィール又は経歴に関する情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 18】 請求項 12 に記載の情報提供方法において、

前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道番組に登場するニュースキャスター又はアナウンサーについてのプロフィール又は経歴に関する情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 19】 請求項 12 に記載の情報提供方法において、

前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容に出現する政治、法律、経済、科学技術、芸術、若しくはスポーツの分野における用語についての解説、説明、又は関連するインターネットウェブサイトのアドレスであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 20】 請求項 11 に記載の情報提供方法において、

前記放送コンテンツはドラマ番組であって、前記通信コンテンツは該ドラマ番組中に登場する役者についてのプロフィール若しくは経歴、ドラマ番組中に小道具として使用されている市販商品についての情報、又はドラマ撮影のロケ地についての情報のうちいずれかを含むことを特徴とする情報提供方法。

【請求項 21】 請求項 11 に記載の情報提供方法において、

前記放送コンテンツはドラマ番組であって、前記通信コンテンツは該ドラマ番組のこれまでのあらすじであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 22】 請求項 21 に記載の情報提供方法において、

前記これまでのあらすじは、該ドラマ番組の番組冒頭から現在時刻に放送中の場面までのドラマの展開についてのあらすじであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 23】 請求項 21 に記載の情報提供方法において、

前記放送コンテンツは連作ドラマ番組であって、前記これまでのあらすじは該ドラマ番組の第 1 回放送分から現在放送中の回までのあらすじであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 24】 請求項 21 乃至 23 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、

前記これまでのあらすじは、これまでのドラマ番組中の主要なカットを編集したダイジェスト映像、これまでのあらすじを解説した文章、又は同文章を朗読した音声のうちいずれかであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 25】 請求項 11 に記載の情報提供方法において、

前記放送コンテンツは映画番組であって、前記通信コンテンツは現在時刻に放送中の場面对応するセリフを文字化したテキストを含むデータであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 26】 請求項 25 に記載の情報提供方法にお

いて、

前記映画番組は洋画映画番組であって、前記セリフを文字化したテキストは該映画制作の際に用いられたオリジナル言語で表記されていることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 27】 請求項 25 に記載の情報提供方法において、

前記映画番組は邦画映画番組であって、前記セリフを文字化したテキストは日本語で表記されていることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 28】 請求項 25 に記載の情報提供方法において、

前記映画番組は洋画映画番組であって、前記セリフを文字化したテキストは日本語で表記されていることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 29】 請求項 25 に記載の情報提供方法において、

前記セリフを文字化したテキストは放送コンテンツとして放送される言語とは異なる言語で表記されていることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 30】 請求項 11 に記載の情報提供方法において、

前記放送コンテンツは映画番組であって、前記通信コンテンツは現在時刻に放送中の場面对応するセリフの音声を含むデータであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 31】 請求項 30 に記載の情報提供方法において、

前記セリフの音声は、放送コンテンツの言語とは異なる言語に吹替えた音声であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 32】 請求項 31 に記載の情報提供方法において、

前記セリフの音声を含むデータには前記吹替えた音声と共に、当該場面の効果音、BGMその他すべての音声が含まれていることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 33】 請求項 30 に記載の情報提供方法において、

前記映画番組は洋画映画番組であって、前記セリフの音声は該映画制作の際に用いられたオリジナル言語の音声であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 34】 請求項 33 に記載の情報提供方法において、

前記セリフの音声を含むデータには前記オリジナル言語の音声と共に、当該場面の効果音、BGMその他すべての音声が含まれていることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 35】 請求項 33 に記載の情報提供方法において、

前記セリフの音声を含むデータには、当該場面のセリフ、効果音、BGMその他すべての音声のうち前記オリジナル言語のセリフの音声のみが含まれていることを特

徴とする情報提供方法。

【請求項 3 6】 請求項 1 1 に記載の情報提供方法において、

前記放送コンテンツは CM であって、前記通信コンテンツは該 CM の広告の対象とされている商品又は役務についての情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 3 7】 請求項 3 6 に記載の情報提供方法において、

前記商品又は役務についての情報には、商品若しくは役務の提供主体、その販売店若しくは代理店の所在地ないし連絡手段、商品若しくは役務の内容、質、仕様、価格、又は商品若しくは役務についての情報を提供しているインターネットウェブサイトのアドレスのうちのいずれかが含まれていることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 3 8】 請求項 1 1 に記載の情報提供方法において、

前記放送コンテンツは CM であって、前記通信コンテンツは該 CM 中に BGM として用いられている音楽についての情報であることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 3 9】 請求項 3 8 に記載の情報提供方法において、

前記音楽についての情報には、該音楽のタイトル、演奏者ないしアーティスト名、作曲者、作詞者、編曲者、又は該音楽の収録された CD 若しくは録音済み MD 等のメディアについての価格及び品番のうちのいずれかが含まれていることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 4 0】 請求項 3 8 に記載の情報提供方法において、

前記音楽についての情報は、該音楽の全曲又は一部分を機械的若しくはソフトウェア的手段によって再生できるように圧縮した音楽データそのものであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 4 1】 請求項 3 8 に記載の情報提供方法において、

前記音楽についての情報は、携帯電話又は PHS のための着信メロディーデータであることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 4 2】 請求項 1 乃至 4 1 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、

前記通信コンテンツの提供に際して情報の受信者から課金することを特徴とする情報提供方法。

【請求項 4 3】 請求項 1 乃至 4 1 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法において、

前記通信コンテンツの提供に際して前記通信媒体の運営事業者から課金することを特徴とする情報提供方法。

【請求項 4 4】 請求項 1 乃至 4 3 のいずれか 1 項に記載の情報提供方法を実現するための装置であって、前記放送コンテンツを受信可能であると共に前記通信コンテンツをも受信可能であることを特徴とする情報受信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、テレビなどで放送される放送コンテンツに関連のある情報を、テレビ放送電波などの放送媒体とは別の通信媒体を介して提供する情報提供方法に関する。

【0002】

【従来の技術】マルチメディア時代の到来によって、テレビなどの放送と携帯電話やインターネットなどの通信とが融合し、シームレス化すると予想されている。折しも、本年末からは BS デジタル放送がスタートし、料理番組の視聴中に簡単な操作を行なうだけで当該料理のレシピ情報をデータ放送で取得できるなど、従前のテレビ放送では実現することのできなかった新たなサービスを視聴者に提供することが期待されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、BS デジタル放送を従前のアナログ式地上波放送と比較すると、いくら多量のデータを送出できるとはいっても、BS デジタル放送にはその固有の情報送出量の限界があることは否定できない。

【0004】しかも、視聴者ないし末端ユーザのニーズは個人ごとに種々様々なものに多様化しているにもかかわらず、例えば BS デジタル放送におけるデータ放送では、その対象ユーザが全国津々浦々に存在している関係上、特定の対象層に絞った情報提供を行うことはできず、必然的に万人向けのコンテンツを放送せざるを得ない。

【0005】これに対し、放送から目を転じて通信について見ると、携帯電話や PHS はすでに爆発的な普及を遂げ、インターネットに関してはパソコンのみならず家庭用ゲーム機などからもアクセスできる状況になってきている。

【0006】本発明は上記した背景に鑑みてなされたもので、テレビなどの放送では放送コンテンツを提供しつつ、放送コンテンツに関連のある情報を通信媒体によって提供することで、ユーザの多様化した情報要求ニーズに応えることができる情報提供方法を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために請求項 1 に係る本発明の情報提供方法は、放送媒体を介して情報受信装置で受信されることを目的として、放送コンテンツを前記放送媒体のうちの所定のチャンネルを介して放送する一方で、通信媒体を介してコンテンツサーバとの間で情報交換可能な前記情報受信装置で受信されることを目的として、前記放送コンテンツに関連する情報を含む通信コンテンツを、前記通信媒体を介して前記コンテンツサーバへ提供することを特徴としている。

【0008】請求項 1 に記載の方法では、1 の情報受信

装置によって放送コンテンツを受信すると共に、同一の情報受信装置によって通信コンテンツも受信できるようにしている。

【0009】請求項1に記載の方法によれば、1の情報受信装置によって放送と通信とのコンテンツを相互に自由自在に視聴ないし閲覧することが可能となつて、実質的に放送と通信との垣根は取払われて、将来の放送と通信とが融合したマルチメディア時代に対応することができるようになる。

【0010】この場合、請求項2に記載した情報提供方法は、請求項1に記載の情報提供方法において、前記情報受信装置は、インターネット接続機能を備えた放送受信装置、ホームサーバ、パソコン、又はPDAのいずれかであることを特徴としている。

【0011】請求項2に記載の方法では、情報受信装置の具体例を例示的に列挙することとした。

【0012】請求項2に記載の方法によれば、インターネットという膨大な種類及び量の情報を入手可能な通信媒体を介して通信コンテンツを取得することで、視聴者は放送コンテンツに関連する様々な多彩な情報を自由自在に入手することができるようになる。

【0013】また、請求項3に記載した情報提供方法は、放送受信装置で受信されることを目的として、放送コンテンツを放送媒体のうちの所定のチャンネルを介して放送すると共に、前記放送の放送主体又は該放送主体の指揮監督若しくは委託を受けた情報提供主体と通信媒体を介して接続可能である通信端末装置で受信されることを目的として、前記放送コンテンツに関連する情報を含む通信コンテンツを、前記通信媒体を介して前記通信端末装置へ提供することを特徴としている。

【0014】請求項3に記載の方法では、通信コンテンツの提供について前記請求項1よりもやや制限的に想定している。すなわち、本発明における通信コンテンツは放送コンテンツに関連する情報を含むものであることから、それを提供する者に関しては、放送事業者などの放送主体又は該放送主体の指揮監督若しくは委託を受けた委託事業者などの情報提供主体が適任であろうと考えて、これらを通信コンテンツの提供主体として想定した。また、本請求項は前記請求項1が将来のマルチメディア情報受信装置を前提としているのと比較して、現在一般に普及しているTV受信装置や携帯電話などを有効に活用して情報を提供することを想定している。そのため、放送については放送受信装置で受信する一方で、通信コンテンツについては通信端末装置で受信することとしている。もっとも、これらは本請求項に記載された発明において、概念的には区別されるべきであるけれども、結果として、1の装置が放送受信装置としての機能と通信端末装置としての機能とを併有するような態様を排除する意図ではなく、このことは後続する請求項についての説明からも明らかになるであろう。

【0015】請求項3に記載の方法によれば、放送事業者は自己の放送を流すのに先だつて、視聴者に取得して欲しいと希望するような情報をみずから取捨選択して、これを放送コンテンツに関連づけられた通信コンテンツとして準備しておくことで、放送事業者が与えたい情報を通信コンテンツとして放送の視聴者に対して提供することができる。

【0016】請求項4に記載の情報提供方法は、請求項3に記載の情報提供方法において、前記放送受信装置は、テレビ受像装置、ビデオレコーダ、又はホームサーバであることを特徴としている。

【0017】請求項4に記載の方法では、放送としてテレビ放送を想定した。このため、放送受信装置として、テレビ受像装置、ビデオレコーダ、又はホームサーバを選択することとした。

【0018】請求項4に記載の方法によれば、テレビ放送の放送コンテンツに関連した情報を通信コンテンツとして、通信媒体を介して視聴者に提供することができる。

【0019】請求項5に記載の情報提供方法は、請求項3に記載の情報提供方法において、前記放送受信装置は、ラジオ受信装置であることを特徴としている。

【0020】請求項5に記載の方法では、放送としてラジオ放送を想定した。このため、放送受信装置としては、ラジオ受信装置とすることとした。

【0021】請求項5に記載の方法によれば、ラジオ放送の放送コンテンツに関連した情報を通信コンテンツとして、通信媒体を介して視聴者に提供することができる。

【0022】請求項6に記載の情報提供方法は、請求項3乃至5のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記通信端末装置は、パソコン、PDA、携帯電話、PHS、又はインターネット接続機能を備えた放送受信装置若しくはホームサーバであることを特徴としている。

【0023】請求項6に記載の方法では、通信コンテンツを受信するための通信端末装置を具体的に例示している。すなわち、従来すでに通信手段として用いられている、パソコン、PDA、携帯電話、PHSが通信端末装置として採用される。さらに、放送を受信することを本来の目的としているような放送受信装置若しくはホームサーバであっても、インターネット接続機能を備えることで請求項3にいう通信端末装置となり得る。この場合には、かかる放送受信装置若しくはホームサーバは放送受信装置であると共に通信端末装置でもあるということになる。同様に、放送を受信する機能を内蔵したパソコンも放送受信装置であると共に通信端末装置でもあるということができる。

【0024】請求項6に記載の方法によれば、提供された通信コンテンツを、パソコン、PDA、携帯電話、P

H S、又はインターネット接続機能を備えた放送受信装置若しくはホームサーバなどのような様々な装置によって取得することができる。

【0025】請求項7に記載の情報提供方法は、請求項1乃至6のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記放送媒体は、アナログ又はデジタル方式の地上波、衛星波若しくはケーブルテレビ回線のいずれかであることを特徴としている。

【0026】請求項7に記載の方法では、放送媒体の種類を具体的に列挙している。本出願の出願時点においては、テレビ放送についてはアナログ方式の地上波やBS放送のようなアナログ方式の衛星波、CS放送のようなデジタル方式の衛星波、アナログ方式のケーブルテレビ回線などが見受けられるが、近々開始するBSデジタルや将来予定されている地上波デジタルのような放送媒体も本発明における放送媒体になり得る。なお、本請求項の前提として前記請求項5を排除しなかった理由は、テレビの放送媒体のうちには副次的にラジオ放送を行なっているものがあるからである。

【0027】請求項7に記載の方法によれば、主としてテレビ放送について、種々様々な放送媒体によって放送される放送コンテンツに対し、同放送コンテンツの価値を増大させるような通信コンテンツを視聴者に与えることができる情報提供方法を提供することができる。

【0028】請求項8に記載の情報提供方法は、請求項1乃至6のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記放送媒体は、アナログのAM若しくはFM方式又はデジタル方式のラジオ波又は有線放送回線のいずれかであることを特徴としている。

【0029】請求項8に記載の方法では、放送媒体の種類を具体的に列挙している。本出願の出願時点においては、ラジオ放送についてはアナログ方式のAM放送とFM放送とが主流を占めている。しかしながら、現在でも一部のBSアナログ放送の一部ではサブチャネルを使用したラジオ放送が行なわれているし、CSデジタル放送の中にはラジオ放送専門のチャネルも見受けられる。これらはいずれも本発明における放送媒体になり得る。なお、本請求項の前提として前記請求項4を排除しなかった理由は、テレビ放送の受信装置であっても副次的なラジオ放送についてはこれを受信できるものがあるからである。

【0030】請求項8に記載の方法によれば、主としてラジオ放送について、種々様々な放送媒体によって放送される放送コンテンツに対し、同放送コンテンツの価値を増大させるような通信コンテンツを視聴者に与えることができる情報提供方法を提供することができる。

【0031】請求項9に記載の情報提供方法は、請求項1乃至8のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記通信媒体は、電話回線、PHS回線、又は携帯電話回線のいずれかであることを特徴としている。

【0032】請求項9に記載の方法では、通信媒体を具体的に特定している。通信媒体としては、一般的に最も普及した電話回線、PHS回線、又は携帯電話回線を採用している。

【0033】請求項9に記載の方法によれば、通信媒体として一般的に最も普及した電話回線、PHS回線、又は携帯電話回線を用いているので、例えばインターネットに加入していない世帯に対しても通信コンテンツを提供することができる。

【0034】請求項10に記載の情報提供方法は、請求項1乃至8のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記通信媒体は、電話回線、PHS回線、又は携帯電話回線を含む通信手段を経由したインターネットであることを特徴としている。

【0035】請求項10に記載の方法では、通信媒体を具体的に特定している。通信媒体としては、インターネット接続を前提としており、インターネットに接続するための手段としてはインターネット専用回線を含むほか、一般的に最も普及した公衆回線、PHS回線、又は携帯電話回線を経由した接続形態を想定している。

【0036】請求項10に記載の方法によれば、通信媒体として現在急速に普及しつつあるインターネットを採用しているので、末端の視聴者にとっては、放送事業者が特別に準備した通信コンテンツ以外の情報についても、放送の視聴中に思いついた観点から、各種の情報を自由に検索して閲覧することが可能になる。

【0037】もっぱら音楽配信のみを業とする有線放送を除けば、民間のテレビ又はラジオの放送事業者はスポンサーからの広告料収入によって運営されている。このため、放送コンテンツにはCMが挿入されるのが一般的である。

【0038】そこで、請求項11に記載の情報提供方法は、請求項1乃至10のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツは本編及び／又はCMであることを特徴としている。

【0039】請求項11に記載の方法では、放送コンテンツのカテゴリーを番組とCMとに分類した。そして後続する請求項においてはさらに番組のカテゴリー毎に想定される通信コンテンツを具体化している。

【0040】請求項11に記載の方法によれば、放送コンテンツのカテゴリーに応じて、詳しくは後述するような多彩な通信コンテンツの提供が可能になる。

【0041】BSデジタル放送にあっては、データ放送によって本編放送の内容を補完するような各種の情報を提供することが可能になる。例えば、オリンピックやサッカーの中継であれば、出場選手のプロフィールなどがデータ放送として放送されることになるであろう。しかしながら、多彩なカテゴリーの番組の中にあっても、いかなるカテゴリーの番組にいかなる種類の情報がデータ放送として放送されるのかについては、本出願の出願時に

においては未だ明らかではない。また、現行の地上波放送に比べれば多量の情報送出が行なえるとはいえ、BSデジタル放送のデータ放送の容量は無限にあるわけではない。

【0042】そこで以下の請求項においては、BSデジタル放送の技術水準下にあってもデータ放送として放送される蓋然性の低いコンテンツであって、視聴者の興味を引くであろうと思われるものは何か、という視点から、各種の放送コンテンツのカテゴリーに対応させて通信コンテンツを特定した。ただし、本発明はBSデジタル放送だけを専らのターゲットにしたものではなく、現行のアナログ方式の地上波テレビ放送に関連づけて通信コンテンツを提供する態様をも念頭におかれていることについて特に留意すべきである。

【0043】請求項12乃至19では放送コンテンツとしてニュースないし報道番組を想定した。

【0044】請求項12に記載の情報提供方法は、請求項11に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツはニュースないし報道番組であって、前記通信コンテンツは放送時間枠その他の理由又は制約のために放送されることがなかったニュースないし報道内容に関連する情報であることを特徴としている。

【0045】請求項12に記載の方法では、放送コンテンツとしてニュースないし報道番組を想定した。そして通信コンテンツは、放送時間枠その他の理由又は制約のために放送されることがなかったニュースないし報道内容に関連する情報とした。放送されなかった理由については特に制限的に考えるべきではない。上述したようなBSデジタルのデータ放送の技術的な容量の限界なども含まれる。

【0046】請求項12に記載の方法によれば、視聴者がニュースないし報道の内容について、もっと詳細な情報を知りたいと思ったり、数日間テレビを見ることがなかったためにニュースを見ても前後の事情がわからずにさっぱり要領を得ないといった場合など、視聴者の個別のニーズに合致した情報を通信コンテンツとして提供することができるようになる。

【0047】請求項13に記載の情報提供方法は、請求項12に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、情報の信憑性を十分に確認できなかったために放送されるには至らなかった未確認情報であることを特徴としている。

【0048】請求項13に記載の方法では、情報の信憑性を十分に確認できなかったために放送されるには至らなかった未確認情報であっても、視聴者の興味を引くような情報であって、提供することが公序良俗に反するものでない情報について、通信コンテンツとして提供することとした。一般にニュースないし報道番組において、どの程度の信憑性まで確認された場合に放送に踏み切るのかは、放送事業者間においても若干の差異があり、当

該番組のディレクターやキャスターの判断にもよる。一例を挙げれば、ニュースキャスターA氏は、本番時、常にインターネットで未確認情報を検索している。裏が取れず放送には載せられない“飛ばし”に関しては、没（ボツ）になっている。その“没ニュース”を通信コンテンツとして紹介しようということなどが考えられる。同様に、取材記者の夜回りメモも放送に関しては、従来永遠に日の目を見ることの無いものであったが、それを通信コンテンツとして紹介することなどが考えられる。こうした場合の通信コンテンツの提供に際しては、後述するように視聴者から課金するようにしてもよい。

【0049】請求項13に記載の方法によれば、結果的に裏が取れずに放送されることがなかった情報であっても、実際に報道する準備がなされるまでに至ったような、信憑性のかなり高い未確認情報について、放送コンテンツとは別個の通信コンテンツとして提供することができるようになる。また、取材の最前線にある記者自身が直接見聞きした情報を視聴者に提供することができるようになる。

【0050】請求項14に記載の情報提供方法は、請求項12に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容についての前記放送コンテンツよりもさらに詳細な情報であることを特徴としている。

【0051】請求項14に記載の方法では、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容についての放送コンテンツよりもさらに詳細な情報を、通信コンテンツの対象にすることとした。例えば、ある法案について衆議院の特別委員会において審議がされて可決になったとする。かかる法案について現実的な利害関係を有するような視聴者は、審議の詳細についていち早く知りたいと望むであろう。そこで委員会における各委員の発言をすべて記録したような情報を通信コンテンツとして提供できれば有利である。

【0052】請求項14に記載の方法によれば、例えば法案審議の詳細な過程などのような、放送コンテンツとしては提供しきれないような詳細な情報について、通信コンテンツとして視聴者に提供することによって、視聴者の欲求を満たすことができるようになる。

【0053】請求項15に記載の情報提供方法は、請求項12に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容のこれまでの経緯についての情報であることを特徴としている。

【0054】請求項15に記載の方法では、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容のこれまでの経緯についての情報を通信コンテンツとすることとした。ニュースや報道として取上げられる内容には種々様々なものがあるが、例えば某教団の幹部についての刑事

事件の判決がなされたとする。この事件に特別な関心を寄せる視聴者は、判決までの公判における審理の過程を振り返りたいと思うかも知れない。また、発端となった「地下鉄事件」やさらに前の「弁護士拉致事件」についてまで遡及して情報を得たいと考えるかも知れない。こうした情報は放送する側にとっては、過去に自ら報道した内容であるからきわめてたやすく入手可能である反面、末端の視聴者にとっては、新聞の縮刷版をめくるなど手間暇のかかるものである。

【0055】請求項15に記載の方法によれば、ニュースないし報道内容のこれまでの経緯という、放送する側にとってはごく簡単に提供可能でありながら、一般視聴者にとっては入手が困難であるという情報を通信コンテンツとして提供することによって、個別の視聴者の情報要求ニーズに応えることができる。

【0056】請求項16に記載の情報提供方法は、請求項12に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容に関連をもった過去の出来事ないし事件についての情報であることを特徴としている。

【0057】請求項16に記載の方法では、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容に関連をもった過去の出来事ないし事件についての情報を通信コンテンツとすることとした。ニュースや報道として取上げられる内容には種々様々なものがあるが、例えばある少年によるバスジャック事件についての報道がなされたとする。この事件に関心を寄せる視聴者は、過去の航空機についてのハイジャック事件における当局の対応について振り返りたいと思うかも知れない。また、全く別の少年が犯人であった別の事件について、少年心理という観点から振り返りたいと思うかも知れない。こうした情報は放送する側にとっては、過去に自ら報道した内容であるからきわめてたやすく入手可能である反面、末端の視聴者にとっては、新聞の縮刷版をめくるなど手間暇のかかるものである。

【0058】請求項16に記載の方法によれば、ニュースないし報道内容に関連をもった過去の出来事ないし事件という、放送する側にとってはごく簡単に提供可能でありながら、一般視聴者にとっては入手が困難であるという情報を通信コンテンツとして提供することによって、個別の視聴者の情報要求ニーズに応えることができる。

【0059】請求項17に記載の情報提供方法は、請求項12に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容の対象とされている人物についてのプロフィール又は経歴に関する情報であることを特徴としている。

【0060】請求項17に記載の方法では、放送された

又は現に放送中のニュースないし報道内容の対象とされている人物についてのプロフィール又は経歴についての情報を通信コンテンツとすることとした。既述の如く、スポーツ中継番組などであれば、出場選手のプロフィールについてデータ放送で流される蓋然性が高いと想定される。また選挙速報の放送においては各政治家のプロフィールが流される蓋然性は高いであろう。しかし、例えば一般的な政治ニュースないし報道において、与党の幹事長についてどこの選挙区で何回当選しているかなどといった情報や、どのような内容の発言をいつしているかなどについてまではデータ放送で流されることは無いのではないかと予想される。こうした情報は放送する側にとっては、過去に自ら報道した内容であるからきわめてたやすく入手可能である反面、末端の視聴者にとっては、新聞の縮刷版をめくるなど手間暇のかかるものである。

【0061】請求項17に記載の方法によれば、ニュースないし報道内容の対象とされている人物についてのプロフィール又は経歴という、放送する側にとってはごく簡単に提供可能でありながら、一般視聴者にとっては入手が困難であるという情報を通信コンテンツとして提供することによって、個別の視聴者の情報要求ニーズに応えることができる。

【0062】請求項18に記載の情報提供方法は、請求項12に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道番組に登場するニュースキャスター又はアナウンサーについてのプロフィール又は経歴に関する情報であることを特徴としている。

【0063】請求項18に記載の方法では、放送された又は現に放送中のニュースないし報道番組に登場するニュースキャスター又はアナウンサーについてのプロフィール又は経歴に関する情報を通信コンテンツとすることとした。ニュースないし報道番組の一部においてはいわゆる看板キャスターがいることは事実で、こうした人物についての簡単な経歴は、あるいはデータ放送のコンテンツの対象とされるかも知れない。しかし、そのキャスターについてもっと詳しく知りたいと思う視聴者は彼／彼女の執筆した著作物に関してまで情報を得たいと思うかも知れない。また、看板キャスター以外のアナウンサーについての情報はデータ放送においても放送されないかも知れない。こうした情報は放送する側にとっては、自局のアナウンサーに関する情報であるから当然のように所有している反面、末端の視聴者にとっては、入手不可能な性質のものである。

【0064】請求項18に記載の方法によれば、ニュースないし報道番組に登場するニュースキャスター又はアナウンサーについてのプロフィール又は経歴という、放送する側にとってはごく簡単に提供可能でありながら、一般視聴者にとっては一般的に入手が不可能であるという情報を通信コンテンツとして提供することによって、

視聴者の好奇心を満足させることができる。

【0065】請求項19に記載の情報提供方法は、請求項12に記載の情報提供方法において、前記ニュースないし報道内容に関連する情報は、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容に出現する政治、法律、経済、科学技術、芸術、若しくはスポーツの分野における用語についての解説、説明、又は関連するインターネットウェブサイトのアドレスであることを特徴としている。

【0066】請求項19に記載の方法では、放送された又は現に放送中のニュースないし報道内容に出現する政治、法律、経済、科学技術、芸術、若しくはスポーツの分野における用語についての解説、説明、又は関連するインターネットウェブサイトのアドレスを通信コンテンツとすることとした。ニュースや報道として取上げられる内容はきわめて多彩であって、国内の政治問題から科学技術やスポーツ、世界情勢などなどバラエティーに富んでいる。従って、視聴者が例えば文化系の人物であれば、ノーベル物理学賞の対象となった最先端の科学技術について専門用語を交えながら放送されても、十分に理解できないことがある。逆に技術系の視聴者にとっては国内の経済問題の解説について、用いられた用語を十分に理解できないことがあり得る。こうした場合、パソコンをインターネットにでも接続して検索すれば、たいいていの情報は得られるものではあるが、視聴者が生粋の技術者であればあるほど、わざわざ経済用語を検索しようとは思わないだろうし、法律の専門家であればわざわざ物理学の用語を検索することまではしないだろう。およそ人間というものは、自己の職務上の必要性でもない限り、多少の好奇心があったとしても、よほどお手軽に情報が得られるのでなければ、情報の獲得のために労力は費やさないものである。本請求項では、「お手軽に」情報を提供するための方法を例示的に規定している。

【0067】請求項19に記載の方法によれば、ニュースないし報道内容に出現する各種専門分野における用語についての解説、説明、又は関連するインターネットウェブサイトのアドレスを通信コンテンツとして提供するので、視聴者は自ら専門用語辞典を調べたりインターネットウェブサイトを検索したりする労力を要すること無く、手軽に未知の用語についての情報を得ることができる。

【0068】請求項20乃至24では放送コンテンツとしてドラマ番組を想定した。

【0069】請求項20に記載の情報提供方法は、請求項11に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツはドラマ番組であって、前記通信コンテンツは該ドラマ番組中に登場する役者についてのプロフィール若しくは経歴、ドラマ番組中に小道具として使用されている市販商品についての情報、又はドラマ撮影のロケ地についての情報のうちいずれかを含むことを特徴としてい

る。

【0070】請求項20に記載の方法では、放送コンテンツとしてドラマ番組を想定した。そして通信コンテンツは、ドラマ番組中に登場する役者についてのプロフィール若しくは経歴、ドラマ番組中に小道具として使用されている市販商品についての情報、又はドラマ撮影のロケ地についての情報とした。

【0071】請求項20に記載の方法によれば、ドラマ番組の内容に関連した各種の情報を通信コンテンツとして提供するので、視聴者は以前よりも高い関心をもってドラマ番組を視聴するようになり、ひいてはドラマ番組の視聴率を向上させることができる。

【0072】請求項21に記載の情報提供方法は、請求項11に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツはドラマ番組であって、前記通信コンテンツは該ドラマ番組のこれまでのあらすじであることを特徴としている。

【0073】請求項21に記載の方法では、放送コンテンツとしてドラマ番組を想定した。そして通信コンテンツは、ドラマ番組のこれまでのあらすじとした。テレビ好きの視聴者の中には、番組ガイド誌などで事前に情報を入手しておいて、あらかじめ視聴するドラマを選択している者も存在するが、むしろ一般的には、たまたまチャンネルを切換えたら面白そうなドラマを放送していたので、何となくそのまま見続けた、というような視聴者も多いことは否定できない。このような視聴者はドラマを途中から見はじめたのであるから、それまでのストーリー展開がわからない。ストーリーが良くわからなければ、結局、再び他のチャンネルへ切換えられてしまう結果になりかねない。

【0074】請求項21に記載の方法によれば、視聴者にドラマ番組のこれまでのあらすじを通信コンテンツとして提供するので、ドラマ番組を途中から見はじめた視聴者もそれまでのストーリー展開や場面設定を理解することができて、即座に放送中のドラマの展開に追いついていくことができるようになる。この結果、何となくドラマ番組のチャンネルを選択してくれた視聴者を手放すことなく、ドラマ番組に引き止めておくことができるようになる。

【0075】この場合のあらすじの提供に際し、請求項22に記載の情報提供方法は、請求項21に記載の情報提供方法において、前記これまでのあらすじは、該ドラマ番組の番組冒頭から現在時刻に放送中の場面までのドラマの展開についてのあらすじであることを特徴としている。

【0076】請求項22に記載の方法では、提供する通信コンテンツにおけるこれまでのあらすじの内容を、本編の放送中の場面の進行に追従させて逐次的に更新することとした。

【0077】請求項22に記載の方法によれば、例えば

ドラマ番組の放送開始直後に視聴を開始した視聴者には冒頭の部分についてのあらすじが提供され、ドラマ番組の中盤から視聴を開始した視聴者には前半部分についてのあらすじが提供されるようになる。

【0078】請求項23に記載の情報提供方法は、請求項21に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツは連作ドラマ番組であって、前記これまでのあらすじは該ドラマ番組の第1回放送分から現在放送中の回までのあらすじであることを特徴としている。

【0079】請求項23に記載の方法では、連作ドラマ番組を対象として、ドラマ番組の第1回放送分から現在放送中の回までのあらすじを、これまでのあらすじとして通信コンテンツで提供することとした。

【0080】請求項23に記載の方法によれば、連作ドラマ番組の第3話から視聴を開始した視聴者には第1話と第2話とのあらすじが提供され、連作ドラマ番組の第7話から視聴を開始した視聴者には第1話から第6話までの部分についてのあらすじが提供されるようになる。

【0081】請求項24に記載の情報提供方法は、請求項21乃至23のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記これまでのあらすじは、これまでのドラマ番組中の主要なカットを編集したダイジェスト映像、これまでのあらすじを解説した文章、又は同文章を朗読した音声のうちいずれかであることを特徴としている。

【0082】請求項24に記載の方法では、あらすじを提供するための具体的な態様を例示的に列挙している。すなわち、これまでのあらすじは、これまでのドラマ番組中の主要なカットを編集したダイジェスト映像や、これまでのあらすじを解説した文章、又は同文章を朗読した音声などの形態で提供される。

【0083】請求項24に記載の方法によれば、視聴者がいかなる形態の手段によって通信コンテンツを受信するかに応じて、それに応じた多様な手法であらすじを提供することができる。

【0084】請求項25乃至35においては放送コンテンツとして映画番組を想定した。

【0085】請求項25に記載の情報提供方法は、請求項11に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツは映画番組であって、前記通信コンテンツは現在時刻に放送中の場面对応するせりふを文字化したテキストを含むデータであることを特徴としている。

【0086】請求項25に記載の方法では、映画番組のせりふを文字化したテキストを含むデータを通信コンテンツとすることとした。現在のアナログ地上波においても聴覚障害者をターゲットにした文字字幕放送は一部の番組で採用されているが、本請求項では以下の請求項に具体的に例示されるように、多彩な形式でせりふのデータを通信コンテンツとして提供することで、新たなユーザ層を発掘し獲得することを目的としている。なお、提供されるデータは現在時刻に放送中の場面对応したせ

りふを提示するものであるから、放送と同期的にリアルタイムで通信コンテンツを提供するのがもっとも単純である。しかしながら、本請求項はリアルタイムでの情報提供に限られるものではなく、現在時刻に放送中の場面对応づけられた形式、つまり放送時刻を特定するタグデータを付与された文字情報を、放送に先だってホームサーバに蓄積させておき、ホームサーバは指定された放送時刻に対応づけたタイミングでせりふを画面に表示するような態様をとることも含まれている。なお、放送時刻に代えて番組冒頭からの時間などを採用しても同一目的を達成することができることは言うまでもない。

【0087】請求項25に記載の方法によれば、せりふを文字化したデータは単に聴覚障害者を対象としたものではなく、詳しくは請求項26乃至29に具体的に記載されているような全く新規なユーザ層を発掘し獲得することができる。

【0088】請求項26に記載の情報提供方法は、請求項25に記載の情報提供方法において、前記映画番組は洋画映画番組であって、前記せりふを文字化したテキストは該映画制作の際に用いられたオリジナル言語で表記されていることを特徴としている。

【0089】請求項26に記載の方法では、洋画例えばハリウッド制作の映画を放送するに際して、英語の文字字幕を通信コンテンツとして提供するような事例を想定している。洋画とくにアメリカ映画においては、聴覚障害者に対する配慮から、90年代後半に制作された映画であればほぼ間違いなく英語字幕（英字キャプション）のデータを付与して制作されている。実際、日本国内においても一部のレンタルビデオやセルビデオの映画にはクローズドキャプション信号が含まれており、所定のキャプションデコーダ装置を使用することで英語の字幕を表示させながら洋画を楽しむことができる。このサービスは既にCS放送の一部の番組でも実施されている。しかし、一般的な地上波の放送事業者が映画を放送する場合には、NTSCの同期信号中に付加されていたキャプションデータは削除してから放送しているのが実情である。

【0090】請求項26に記載の方法によれば、視聴者にとって従来、一部のセルビデオやCS放送でしか得ることができなかった英語字幕を通信コンテンツとして得ることができる。これは特に英語学習者にとっては極めて魅力的なサービスの提供形態であるといえる。また、放送主体にとっても特にアメリカ映画のように制作時にキャプションデータを付与されている場合には、自ら英語字幕を書きおこす必要はなく、キャプションデータについての著作権許諾契約を締結するだけで足り、余分な労力を要求されることもない。

【0091】請求項27に記載の情報提供方法は、請求項25に記載の情報提供方法において、前記映画番組は邦画映画番組であって、前記せりふを文字化したテキス

トは日本語で表記されていることを特徴としている。

【0092】請求項27に記載の方法では、邦画つまり日本で制作された映画を放送するに際して、日本語の文字字幕を通信コンテンツとして提供する事例を想定している。聴覚障害者に対するサービスとしては、BSデジタル放送においても日本語字幕は何らかの手段で無料で提供されるべきである。しかしながら、日本語字幕を通信コンテンツとして放送とは別個に提供することができれば、多様なユーザーズを満たす可能性がある。末端ユーザは日本語のせりふデータを例えばパソコンのハードディスクに記録したり印刷したりすることができるようになる。そして、本請求項でいう日本語表記には漢字かな混じりの表記を含む他、全文ひらがな表記やローマ字表記の日本語も含まれることを意図している。さらに、漢字かな混じりの表記については、例えば小学校3年生までで学ぶ漢字のみを使用して残りはひらがな表記にするような態様も含むことを意図している。

【0093】請求項27に記載の方法によれば、視聴者は自己のニーズに合致した形式の日本語字幕データを得ることが可能になる。例えば、日本語を学習中の在日外国人であれば、自己の日本語語学能力に応じて、ローマ字表記のせりふ、全文ひらがな表記のせりふ、漢字かな混じり表記のせりふのいずれかを選択して通信コンテンツとして取得して、映画の画面にスーパーインポーズさせて日本語を学んだり、パソコンに保存された字幕データを印刷して、聞取れなかったせりふをじっくりと学習することが可能になる。また、子供のいる家庭にあっては、例えば「アルプスの少女ハイジ」を見るのが大好きな小学生3年生の子供に、小学校4年生までの漢字を含んだ漢字かな混じり表記のせりふを取得して映像の画面に同期的に表示させ又は印刷して与えて、未習得の漢字を「ハイジ」のせりふと関連づけて自然な形で無理強ひすることなく学習させることができるようになる。

【0094】なお、請求項25乃至35においては映画の語を用いているが、映画は実写であるとアニメであるとを問わず、CG制作のものも勿論含まれる。また、洋画というときには邦画以外のものを示し、欧米諸国で制作されたものとの趣旨ではない。請求項25ないし35に関する記述における「洋画」には例えば中国の映画や香港の映画も含まれる。

【0095】請求項28に記載の情報提供方法は、請求項25に記載の情報提供方法において、前記映画番組は洋画映画番組であって、前記せりふを文字化したテキストは日本語で表記されていることを特徴としている。

【0096】請求項28に記載の方法では、洋画例えばハリウッド制作の映画を放送するに際して、日本語の文字字幕を通信コンテンツとして提供するような事例を想定している。現行の地上波放送について見るに、映画の放送はオリジナル言語の音声に日本語字幕を提示して放送する形態と、二ヶ国語放送でオリジナルの音声と日本

人声優の吹替え音声とを選択できるようにして放送する形態とがある。昨今の新聞のテレビ欄を見ると、昔の作品を除いては、二ヶ国語放送で放送されるケースが多いように思われる。国際化の中にあつて英語学習の重要性が強調されて久しいものの、日本人の英語のリスニング力は低い水準にある。こうした英語学習者は二ヶ国語モードで英語を選択してもほとんど内容を理解できなかったりする。しかし、日本語字幕式の放送形態であれば日本語をヒントに英語の内容を推測することができ、この推測の助けによって、聞取れる英語の分量が大きくなる。

【0097】請求項28に記載の方法によれば、二ヶ国語放送される例えばアメリカの映画を、放送では英語音声モードで受信して視聴しつつ、通信コンテンツとして得られた日本語字幕をスーパーインポーズさせることで、実質的にオリジナル言語の音声プラス日本語字幕の放送形態の視聴パターンをユーザ自らが選択することができるようになる。すなわち、二ヶ国語放送の多い中であつて、レンタルビデオでは日本語字幕つきオリジナル音声版にするか日本語吹替え版にするかを選択できるように、二ヶ国語放送（もちろん字幕は付いていない）のオリジナル音声を視聴しつつ、通信コンテンツとして日本語字幕の提供を受けて、日本語字幕つきオリジナル音声版の態様で映画を楽しむことができるようになる。

【0098】請求項29に記載の情報提供方法は、請求項25に記載の情報提供方法において、前記せりふを文字化したテキストは放送コンテンツとして放送される言語とは異なる言語で表記されていることを特徴としている。

【0099】請求項29に記載の方法では、洋画例えばハリウッド制作の映画を放送するに際して、中国語の文字字幕を通信コンテンツとして提供するような事例を想定している。ハリウッドに限るわけではないが大作映画は諸外国にも配給されるのが常である。そして、配給を受けた国では自国語の字幕をつけて映画館で放映するのである。日本に滞在している外国人の数は多く、様々な国々の人々が現に居住しているのにもかかわらず、テレビの映画放送といえは、日本語吹替えか英語モードかぐらいしか選択の余地がないのが現状である。

【0100】請求項29に記載の方法によれば、従来自国からビデオを取寄せるしか手段のなかった在日外国人が、母国語の字幕を通信コンテンツとして取得することで、最新の映画を韓国語やスペイン語などの母国語の字幕を付して見るができる。放送主体にとっても人気大作映画のように配給を受けた諸外国で既に翻訳された字幕をつけて放映されている映画については、自ら外国語字幕を書きおこす必要はなく、翻訳された字幕についての著作権許諾契約を締結するだけで足り、余分な労力を要求されることもない。

【0101】前記請求項25乃至29においては、せり

ふの文字化という視点から新たなユーザニーズを創り出すことを試みたが、以下の請求項 30 乃至 35 ではせりふの音声に着目して新たなユーザを開拓することをめざしている。

【0102】請求項 30 に記載の情報提供方法は、請求項 11 に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツは映画番組であって、前記通信コンテンツは現在時刻に放送中の場面对応するせりふの音声を含むデータであることを特徴としている。

【0103】請求項 30 に記載の方法では、映画番組のせりふの音声を含むデータを通信コンテンツとすることとした。つまり、前記請求項 25 乃至 29 において、せりふの文字化という視点から新たなユーザニーズを創り出すことを試みたのとは対称的に、せりふの音声に着目して新たなユーザ層を開拓することをめざしている。なお、請求項 25 において説明したのと同様に、提供されるデータは現在時刻に放送中の場面对応したせりふを提示するものであるから、放送と同期的にリアルタイムで通信コンテンツを提供するのがもっとも単純である。しかしながら、本請求項はリアルタイムでの情報提供に限られるものではなく、現在時刻に放送中の場面对応づけられた形式、つまり放送時刻を特定するタグデータを付与された音声情報を、放送に先だってホームサーバに蓄積させておき、ホームサーバは指定された放送時刻に対応づけたタイミングでせりふを再生するような態様をとることも含まれている。なお、放送時刻に代えて番組冒頭からの時間などを採用しても同一目的を達成することができることは言うまでもない。

【0104】請求項 30 に記載の方法によれば、例えば視覚障害者を対象として、せりふの音声に加えて、場面の状況を解説するアナウンス音声を付加することで、視覚障害者であっても映画のストーリー展開を十分に理解できるように援助するようなサービスを提供することができる。もちろん、アナウンス音声を付加された情報は通信コンテンツとして放送とは別個に提供されるので、一般視聴者にとっては耳障りになることもない。こうしたサービスを提供することは福祉国家におけるマスメディアとしての社会的責務を達成することにつながる。

【0105】請求項 31 に記載の情報提供方法は、請求項 30 に記載の情報提供方法において、前記せりふの音声は、放送コンテンツの言語とは異なる言語に吹替えられた音声であることを特徴としている。

【0106】請求項 31 に記載の方法では、例えば日本で制作されたアニメ「赤毛のアン」を放送するに際して、英語の吹替え音声を通信コンテンツとして提供するような事例を想定している。もちろん、ハリウッド映画を二ヶ国語（日／英）で放送するに際して、韓国語や台湾語で吹替えられた音声を通信コンテンツとして提供することも含まれている。日本で制作された映画の中にも海外で高い評価を与えられたものがあり、輸出先の諸外

国の母国語に吹替えられて放映されているものがある。また、前述の如く、ハリウッドに限るわけではないが大作映画は諸外国にも配給されるのが常であり、自国の言語の字幕を付するのではなく自国の声優によって吹替えられて放映されていることもある。

【0107】請求項 31 に記載の方法によれば、従来わざわざ英語吹替え版の日本のアニメビデオを外国から取寄せては、幼児に見せていた早期教育に熱心な母親たちに、通信コンテンツとして英語吹替え版の音声を提供することができる。また従来外国からビデオを取寄せるしか手段のなかった在日外国人も、母国語に吹替えられた音声を通信コンテンツとして受信することで、最新の映画を韓国語やスペイン語などの母国語に吹替えられた音声で楽しむことができる。放送主体にとっても人気大作映画のように配給を受けた諸外国で既に吹替え版が制作されて放映されている映画については、自ら外国語音声に吹替える必要はなく、吹替えられた音声についての著作権許諾契約を締結するだけで足り、余分な労力を要求されることもない。

【0108】請求項 32 に記載の情報提供方法は、請求項 31 に記載の情報提供方法において、前記せりふの音声を含むデータには前記吹替えた音声と共に、当該場面の効果音、BGM その他すべての音声が含まれていることを特徴としている。

【0109】請求項 32 に記載の方法では、せりふの音声を含むデータに当該場面の効果音等のすべての音声を含めて提供することとした。この点は、前記請求項 25 乃至請求項 29 がせりふの文字を通信コンテンツとしているのとは異なる。つまり例えば請求項 29 について記載したようにスペイン語の字幕データの提供を受ける場合には、オリジナル言語（例えば英語）の放送画面にスペイン語字幕をスーパーインポーズすれば足りる。実際、われわれもフランスの映画をフランス語のオリジナル音声を聞きながら日本語字幕つきで鑑賞しても違和感を生じることはない。しかし、放送が二ヶ国語モードで日本語／英語だった場合、スペイン人の役者の吹替えられたせりふの音声だけが提供されたとしたら、日本語とスペイン語との役者のせりふを同時に聞くか、英語とスペイン語を同時に聞くかしなければならない。これは著しく不都合である。放送コンテンツとして提供される音声は遮断して、つまりテレビのボリュームをゼロに絞って映画を鑑賞できるようにする必要がある。従って、吹替え音声の場合には、せりふの音声を含むデータに当該場面の効果音、BGM その他すべての音声を含めて提供することとした。

【0110】請求項 32 に記載の方法によれば、放送コンテンツで用いられている言語とは異なる言語で映画を楽しむ場合に、所望の外国語の吹替え音声データを通信コンテンツとして取得することで、当該外国で吹替えられて放映されているのと実質的に同一の状況を作り

出すことができる。

【0111】請求項33に記載の情報提供方法は、請求項30に記載の情報提供方法において、前記映画番組は洋画映画番組であって、前記せりふの音声は該映画制作の際に用いられたオリジナル言語の音声であることを特徴としている。

【0112】請求項33に記載の方法では、前記請求項31及び請求項32が吹替え音声を対象にしたのに対して、オリジナル言語の音声を対象にしている。既存の放送においても日本語字幕付きのオリジナル言語音声での放送や、日本語と台湾語との二ヶ国語の台湾映画放送などは行なわれている。そのような状況の下で通信コンテンツとしてオリジナル音声を選択したのは、そうした二ヶ国語も検討の余地があると考えてのことである。

【0113】請求項33に記載の方法によれば、例えば日本人男性とアメリカ人女性とが夫婦であるような場合、夫である日本人男性は日本語の吹替え版で映画を鑑賞したいと望むであろうし、妻であるアメリカ人女性は英語のオリジナル音声で鑑賞したいと望むであろう。いや、この夫婦が共に語学習得に熱心な人物ならば互いに逆の言語を望むこともあるかも知れない。また、日本人の世帯であっても、アメリカ転勤を控えた夫だけがオリジナル音声での鑑賞を望んで、家族の反発を買うかも知れない。こうした場合、従前の二ヶ国語放送では左のスピーカーからは日本語が、右のスピーカーからは英語が、それぞれ流れるように切換えることができる。しかし、実験してみればすぐに分かるようにあまり快適なものではない。一応、映画を鑑賞できるであろうが、満喫はできない。本請求項によれば、オリジナル言語を望む人物は通信コンテンツとして音声データを取得することで、その人だけがオリジナル言語での視聴を行なうことができる。

【0114】請求項34に記載の情報提供方法は、請求項33に記載の情報提供方法において、前記せりふの音声を含むデータには前記オリジナル言語の音声と共に、当該場面の効果音、BGMその他すべての音声が含まれていることを特徴としている。

【0115】請求項34に記載の方法では、せりふの音声を含むデータに当該場面の効果音等のすべての音声を含めて提供することとした。その目的は、吹替え音声について規定した前記請求項32が、放送コンテンツで用いられている言語とは異なる言語で映画を楽しみたい場合に、当該外国で吹替えられて放映されているのと実質的に同一の状況を作り出そうとした際に、必要になったのと同じ事情を含んではいるが、本請求項の目的は、それだけではなく、後述の請求項35との差別化にもある。

【0116】請求項34に記載の方法によれば、例えば二ヶ国語モードの搭載されていないテレビを所有している在日外国人（これは冗談ではない。滞在期間の限られ

た外国人は、自国に持帰っても信号方式の違いのために使用できないようなテレビのために金を払わない。）に通信コンテンツとしてオリジナル音声を提供することができる。こうした場合には、請求項6に記載したうち、通信端末装置として携帯電話やPHSを採用するのが効果的であろう。

【0117】請求項35に記載の情報提供方法は、請求項33に記載の情報提供方法において、前記せりふの音声を含むデータには、当該場面のせりふ、効果音、BGMその他すべての音声のうち前記オリジナル言語のせりふの音声のみが含まれていることを特徴としている。

【0118】請求項35に記載の方法では、せりふの音声を含むデータはせりふの音声のみが含まれているものにするとして、人間の声以外の当該場面の効果音、BGMその他の音声は削除したものを通信コンテンツとして提供することとした。本請求項はもっぱら語学学習者をターゲットにしたものである。

【0119】請求項35に記載の方法によれば、語学、例えば英語のリスニング力を強化したいと望んでいる末端ユーザに対して、映画の音声のうち英語のせりふ部分のみを抽出した語学教材を提供することができる。

【0120】もっぱら音楽配信のみを業とする有線放送を除けば、民間のテレビ又はラジオの放送事業者はスポンサーからの広告料収入によって運営されている。このため、放送コンテンツにはCMが挿入されるのが一般的である。そこで、請求項36乃至41ではCMに付加価値を与えるような情報提供方法を提示することとした。

【0121】すなわち、請求項36に記載の情報提供方法は、請求項11に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツはCMであって、前記通信コンテンツは該CMの広告の対象とされている商品又は役務についての情報であることを特徴としている。

【0122】請求項36に記載の方法では、CMの広告の対象とされている商品又は役務についての情報を通信コンテンツとすることとした。CMの制作はときとして商品又は役務をイメージ的なし心理的にアピールするような手法で行なわれ、視聴者の立場から見ると、対象とされている商品又は役務について十分な情報を得ることができないことも見受けられる。

【0123】請求項36に記載の方法によれば、単に放送でCMを流すだけでなく、通信媒体でCMの対象についての情報を提供するという手段によって、視聴者により多くの情報を提供することが可能となって、CMに付加価値を与えることができるので、このことはスポンサーにとって利益になるだけでなく、結果的に放送事業者にとっても広告料の増収につながる可能性がある。

【0124】さらに具体化すると、請求項37に記載の情報提供方法は、請求項36に記載の情報提供方法において、前記商品又は役務についての情報には、商品若しくは役務の提供主体、その販売店若しくは代理店の所在

地ないし連絡手段、商品若しくは役務の内容、質、仕様、価格、又は商品若しくは役務についての情報を提供しているインターネットウェブサイトのアドレスのうちのいずれかが含まれていることを特徴としている。

【0125】請求項37に記載の方法では、請求項36にいう商品又は役務についての情報をより明瞭に例示することとした。そして例示的に列挙したような情報については、スポンサーの意向に応じ、CMに関連づけて通信コンテンツとして視聴者に提供するのか、それとも、通信コンテンツを提供せずに従前どおりのCMの放送のみにとどめるのか、という選択が可能となり、このことは特に、請求項3にいう放送主体にとってCMの差別化をはかることを可能にする。

【0126】請求項37に記載の方法によれば、視聴者は、CMによって広告されている商品又は役務について関心を抱いたときに、それはどのような性質ないし性能のものなのか、価格はいくらぐらいするのか、また、より詳しいパンフレット資料や説明を求めたい場合にはどこに問い合わせればよいのか、などといった情報を通信コンテンツとして得ることができる。

【0127】CMにおいては限られた短い時間枠内で視聴者の関心を強力に引付けるために魅力的な旋律の音楽をBGMとして流すことがしばしば行なわれている。他方、歌謡曲の制作現場においても、CMソングとして活用されることを前提として、CMの時間枠内にキッチリとサビの部分がおさまるように配慮しつつ作曲していることなどは当業者において周知のところである。そしてCMソングからミリオンセラーがいくつも登場していることは一般人の知るところである。そうだとするならば、CMに付加価値を与えるに際しては、広告対象についてだけでなく、CMソングについても通信コンテンツを活用できれば望ましいだろう。

【0128】そこで、請求項38に記載の情報提供方法は、請求項11に記載の情報提供方法において、前記放送コンテンツはCMであって、前記通信コンテンツは該CM中にBGMとして用いられている音楽についての情報であることを特徴としている。

【0129】請求項38に記載の方法では、CM中にBGMとして用いられている音楽についての情報を通信コンテンツとすることとした。前述の如くCMの制作に際しては、その広告効果を高めるために、BGMとして流される音楽についても十分な配慮がなされている。そして、視聴者はその音楽を聴いたときにCMを連想し、ひいては商品又は役務を思い出すこともある。CMにおいて音楽が重要な要素であるにもかかわらず、視聴者の立場からみるとCMを視聴しただけでは、その音楽の出所を特定できないことはしばしば見受けられる。

【0130】請求項38に記載の方法によれば、単にCM中で音楽を流すだけでなく、通信媒体で流されている音楽についての情報を提供するという手段によって、視

聴者により多くの情報を提供することが可能となって、CMに付加価値を与えることができるので、このことは音楽著作権者にとって利益になるだけでなく、結果的に放送事業者にとっても広告料の増収につながる可能性がある。

【0131】さらに具体化すると、請求項39に記載の情報提供方法は、請求項38に記載の情報提供方法において、前記音楽についての情報には、該音楽のタイトル、演奏者ないしアーティスト名、作曲者、作詞者、編曲者、又は該音楽の収録されたCD若しくは録音済みMD等のメディアについての価格及び品番のうちのいずれかが含まれていることを特徴としている。

【0132】請求項39に記載の方法では、請求項38にいう音楽についての情報をより明瞭に例示することとした。そして例示的に列挙したような情報については、音楽著作権者の意向に応じ、CMに関連づけて通信コンテンツとして視聴者に提供するのか、それとも、通信コンテンツを提供せずに従前どおりのCMの放送のみにとどめるのか、という選択が可能となり、このことは特に、請求項3にいう放送主体にとってCMの差別化をはかることを可能にする。

【0133】請求項39に記載の方法によれば、ユーザが例えばテレビコマーシャルを視聴中に偶然気に入った音楽を耳にしたときには、その音楽を演奏しているアーティストやタイトル、その他のCD等を購入する上で必要になる書誌的事項を入手するようなことが可能となって、CD等の売上げを促進することができる。

【0134】請求項40に記載の情報提供方法は、請求項38に記載の情報提供方法において、前記音楽についての情報は、該音楽の全曲又は一部分を機械的若しくはソフトウェア的手段によって再生できるように圧縮した音楽データそのものであることを特徴としている。

【0135】請求項40に記載の方法では、請求項1にいうコンテンツサーバの運営主体、または、請求項3にいう放送主体又は該放送主体の指揮監督若しくは委託を受けた情報提供主体は、前もって音楽の配信についての著作権許諾契約を締結しておき、ユーザの求めに応じて該音楽を例えばMP3形式のようなデータとして提供する。なお、音楽の「一部分」とは、例えばCM中に流される部分のような時間的な一部分を含むことはいうまでもないが、要素的な一部分つまりカラオケのようなボーカルパートの削除された残りの部分も本請求項での一部分の概念に含まれることを特に明言しておく。なお、本請求項に含まれるものではないが、上位クレームである請求項38に含まれる例として、音楽の楽譜、音楽が歌謡曲である場合におけるその歌詞、音楽のMIDI形式データなどが挙げられる。

【0136】請求項40に記載の方法によれば、視聴者が例えばテレビでCMを視聴中に偶然気に入った音楽を耳にしたときには、通信媒体を介して即座に該音楽の全

曲をダウンロードして入手するようなことが可能となる。そしてダウンロードした音楽データはパソコン上で再生したり、MDにダビングしたり、小型のMP3プレーヤーで再生したりと繰返して楽しむことができる。この場合、後述する如く視聴者本人に情報料を課金してもよいが、課金の有無については本請求項では問題とされてはいない。

【0137】請求項41に記載の情報提供方法は、請求項38に記載の情報提供方法において、前記音楽についての情報は、携帯電話又はPHSのための着信メロディーデータであることを特徴としている。

【0138】請求項41に記載の方法では、音楽についての情報は携帯電話又はPHSにおいて電話の着信時に鳴る着信メロディーデータとした。携帯電話やPHSにおいては事業者間で激しい顧客争奪が繰広げられており、各事業者とも自己の提供する端末の付加価値を向上させることに夢中になっている。着信メロディーについてもその例外ではなく、単音旋律を奏でるものから三重和音を奏でるものにまで発展している。着信メロディーの高音質化、ライブラリ曲数の増加は今後も続くものと思われる。従って、本請求項は特に請求項6において通信端末装置として携帯電話又はPHSを使用した場合に有効である。

【0139】請求項41に記載の方法によれば、視聴者はCM中で演奏された音楽を気に入ったときに該音楽の着信メロディーデータを通信媒体を介してダウンロードすることで、自己の所有する携帯電話又はPHSの着信メロディーにすることができる。この場合、請求項6における通信端末装置として携帯電話又はPHSを選択した場合には、特段の作業を必要とすることなしに、データを携帯電話等でダウンロードして、これを直ちに着信メロディーとすることができる。また、通信端末装置としてパソコンを選択した場合には、パソコンから携帯電話等へ着信メロディーのデータを転送する作業が必要となるが、パソコンの大容量ハードディスクに何百曲、何千曲という着信メロディーライブラリを保存しておくことができ、適宜、携帯電話へ転送してその日の気分にあった着信メロディーを採用することができる。さらに、いまだCDさえ発売されていない時点で最新のCMソングを着信メロディーとすることができれば、ユーザは他人に対する優越感にも似た満足感を得られるだろう。

【0140】請求項42に記載の情報提供方法は、請求項1乃至41のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記通信コンテンツの提供に際して情報の受信者から課金することを特徴としている。

【0141】請求項42に記載の方法では、通信コンテンツの提供に際して、いわば情報料を情報の受信者から課金することとした。特に請求項26に記載した外国語キャプションデータや、請求項28に記載した字幕データ、請求項31乃至35に記載した音声データ、請求項

40に記載したCM中の音楽の例えばMP3形式の全曲データなどは情報の受信者に直接対価を請求するに耐え得る通信コンテンツといえるだろう。

【0142】請求項42に記載の方法によれば、例えば請求項40に記載した発明において、コンテンツサーバ、放送主体、又は情報提供主体は音楽の著作権者と事前に配信についての許諾契約を締結しておき、例えばMP3形式の全曲データをダウンロードしたユーザから対価を徴収することができる。

【0143】請求項43に記載の情報提供方法は、請求項1乃至41のいずれか1項に記載の情報提供方法において、前記通信コンテンツの提供に際して前記通信媒体の運営事業者から課金することを特徴としている。

【0144】請求項43に記載の方法では、通信コンテンツの提供に際して、情報料は末端のユーザから徴収することなしに、通信媒体の運営事業者から徴収することとした。ここでの徴収主体は多くの場合、放送事業者となるであろうが、例えば請求項40に記載したような場合には音楽の著作権者であることも有り得る。なお、本請求項では課金の語を用いているが、これは何らかの態様の契約によって対価を請求することを意図しており、個々人のユーザへの個別の通信コンテンツの提供毎に価額を設定してもよいし、また、事前に定められた権利料を対価として無制限な通信コンテンツの提供を認めるような契約をしてもよい。

【0145】請求項43に記載の方法によれば、例えば請求項31又は請求項32に記載した発明において、放送事業者がハリウッド制作映画を放送するに際して、そのブラジル語吹替え音声を情報提供主体としての携帯電話事業者に提供したような場合、ユーザは携帯電話事業者の指定する情報ボックスダイヤル番号に携帯電話から電話をかけることによって、現にテレビで放送中の映画のブラジル語吹替え音声を楽しむことができる。携帯電話事業者は通話料及び／又は情報料としてユーザから料金を徴収することができ、一方、放送事業者は携帯電話事業者から通信コンテンツの提供の対価を得ることができる。

【0146】請求項44に記載の情報受信装置は、請求項1乃至43のいずれか1項に記載の情報提供方法を実現するための装置であって、前記放送コンテンツを受信可能であると共に前記通信コンテンツをも受信可能であることを特徴としている。

【0147】請求項44に記載の装置では、放送と通信のシームレス化を目的として、情報受信装置が前記放送コンテンツを受信可能であると共に前記通信コンテンツをも受信可能であるようにした。

【0148】請求項44に記載の装置によれば、1の情報受信装置によって放送コンテンツを楽しむことができると共に、該装置のリモコンなどの簡単な操作によって通信コンテンツをも楽しむことができ、末端のユーザ

の利便性を向上させることができる。

【0149】

【発明の実施の形態】以下、添付図面を参照して本発明に係る情報提供方法の実施形態を説明する。

【0150】（実施形態1）図1において、放送コンテンツの提供を行なう放送事業者1は、送信アンテナ3を介してBSデジタル放送衛星5へ向けて、本編とCMとを適宜織り交ぜて含む番組を内容とする、自局のテレビジョン放送電波を送出する。放送衛星5は受信した放送コンテンツを中継して、国内の視聴者へ向けてBSデジタル形式の放送電波を配信する。

【0151】末端の視聴者の自宅7には、放送衛星5から伝送されてきた放送電波を受信するための受信アンテナ9が設置されていると共に、受信アンテナ9によって受信されたBSデジタル放送信号11は大容量ハードディスク装置を内蔵したホームサーバ13へ入力されている。ホームサーバ13には、例えば高品位テレビ受像機15が接続されている。ホームサーバ13はまた、公衆電話回線などの通信回線17を経由してインターネット網19に接続されており、このインターネット網19に接続された1または複数のコンテンツサーバ21に対して、TCP/IPの各種プロトコル等を用いて自由自在にアクセスすることができる。実施形態1において、コンテンツサーバ21は、放送事業者1の設備として放送局内に設置する態様を採る。この場合、放送番組に関連のある情報が、局内のLANなどを介してコンテンツサーバ21宛に伝送されて蓄積される。このとき、コンテンツサーバ21に蓄積される、放送番組に関連のある情報としては、ひとつの放送番組を多面的な観点からみた複数の情報を採用することができる。

【0152】実施形態1の放送システムにおいて、放送事業者1は、自局の放送する番組と関連のある情報について、コンテンツサーバ21に多彩な情報を通信コンテンツとして提供し蓄積させておく。視聴者は、ホームサーバ13に付属した図示しないリモコンを操作することで、ホームサーバ13に蓄積されている放送番組を選択しこれを視聴することができる。視聴者はまた、放送番組の視聴中に、番組画面内に提示されている、1または複数の関連情報アイコンを選択操作することによって、番組の再生を一時停止させて、コンテンツサーバ21を介して提供される各種の情報にアクセスすることができる。具体的には、ある関連情報アイコンを選択操作すると、そのアイコンに関連づけられているコンテンツサーバ21の情報がダウンロードされ、この選択操作された情報が、直前まで視聴していた番組に代えて提示される。そして、コンテンツサーバ21から得られた情報を閲覧した後は、一時停止した場所から再び番組の再生を開始して番組の残りの部分を視聴することができる。なお、ある関連情報アイコンを選択操作すると、そのアイコンに関連づけられているコンテンツサーバ21の情

報がダウンロードされる態様に代えて、ダウンロードされる蓋然性がある通信コンテンツをあらかじめダウンロードするとともにキャッシュメモリに蓄積しておき、ある関連情報アイコンを選択操作すると、キャッシュメモリから該当する通信コンテンツを読み出す態様を採ることもできる。このようにすれば、通信コンテンツへの応答性を高めることができる結果として、放送媒体と通信媒体との間の継ぎ目を意識させないようにする、いわゆるシームレス性を格段に向上することができる。

【0153】このように、本実施形態1によれば、視聴者は、放送媒体によって提供される放送コンテンツと、通信媒体によって提供される通信コンテンツと、の相互に異なる媒体経路で各自提供されるコンテンツのうち、異なる媒体間を自由自在にワープしながら、所要のコンテンツを楽しむことができるので、マルチメディア環境における多彩な情報要求ニーズを満たすことができる。しかも、一方の媒体から他方の媒体へワープしたあと、元の媒体へと戻ってきたときには、ワープ直前の場所から再生を開始するので、異なる媒体間をワープしたことをユーザにことさら意識させることなく、放送・通信の各媒体間をシームレスに結合する情報提供方法を実現することができる。なお、本発明は、相互に異なる媒体経路で各自提供されるコンテンツを同時並行的に楽しむ態様を、本発明の技術的範囲から除外する趣旨ではない旨を明言しておく。

【0154】（実施形態2）図2において、放送コンテンツの提供を行なう放送事業者1は、送信アンテナ3を介してBSデジタル放送衛星5へ向けて自局のテレビジョン放送電波を送出する。放送衛星5は受信した放送コンテンツを中継して、国内の視聴者へ向けてBSデジタル形式の放送電波を配信する。

【0155】末端の視聴者の自宅7には、放送衛星5から伝送されてきた放送電波を受信するための受信アンテナ9が設置されていると共に、受信アンテナ9によって受信されたBSデジタル放送信号11は大容量ハードディスク装置を内蔵したホームサーバ13へ入力されている。ホームサーバ13には、高品位テレビ受像機15が接続されている。ホームサーバ13はまた、公衆電話回線などの通信回線17経由でインターネット網19に接続されており、このインターネット網19に接続されたコンテンツサーバ21に対して、TCP/IPの各種プロトコルを用いて自由自在にアクセスすることができる。ここまでの構成は実施形態1と同様である。しかし、実施形態2では、放送事業者1から委託契約を受けている、1または複数の委託事業者群23の各々にコンテンツサーバ21を設置する態様を採る点が、実施形態1と相違している。こうした実施形態2では、放送番組に関連のある情報が、局内のLAN、図示しない通信装置、およびインターネット網19などを介して各コンテンツサーバ21宛に伝送されて蓄積される。このとき、

コンテンツサーバ 21 に蓄積される、放送番組に関連のある情報としては、ひとつの放送番組を多面的な観点からみた複数の情報を採用することができる。

【0156】放送事業者 1 は、自局の放送する CM 中で BGM として用いられている CM ソングについて、その著作権者との間で、当該音楽についての配信許諾契約を締結している。放送事業者 1 はまた、複数の委託事業者群 23 のうちある委託事業者をして、放送中の CM を紹介するウェブサイトの運営にあたらせており、当該サイトにおいては過去 1 時間までに放送された CM とそこで用いられている音楽についての一覧表をリアルタイムで更新している。

【0157】いま、視聴者は、BS デジタル放送を高品位テレビ受像機 15 で視聴中に、気に入った CM ソングを耳にしたものとする。視聴者は、テレビ受像機 15 の表示画面上に提示されている、1 または複数の関連情報アイコンを選択操作することによって、その CM ソングの再生を一時停止させて、コンテンツサーバ 21 を介して提供される各種の情報にアクセスすることができる。具体的には、ある関連情報アイコンを選択操作すると、そのアイコンに関連づけられている、ある委託事業者が運営している前記ウェブサイトアクセスして、CM 音楽のタイトルやアーティスト名を知ることができる。さらに視聴者が、「有料で音楽を購入する」のアイコンボタンをクリックすると、前記委託事業者が運営しているサイトから音楽を有料で購入するためのプログラムがホームサーバ 13 にダウンロードされて実行される。このプログラムはホームサーバ 13 に内蔵された通信装置を制御して、委託事業者の提供する例えばダイヤル Q2 のような有料課金番号に電話をかけ直して、対価を支払いつつ、音楽の MP3 形式データをダウンロードして、音楽データをホームサーバ 13 のハードディスク装置へ記録保存する。

【0158】本実施形態 2 によれば、視聴者は、気に入った CM ソングを耳にしたときに、直ちにその音楽のデータを MP3 形式で購入することができる。

【0159】（実施形態 3）図 3 において、放送コンテンツの提供を行なう放送事業者 1 は、放送塔の送信アンテナ 4 を介してアナログ地上波の形式で自局のテレビジョン放送電波を送出している。

【0160】末端の視聴者の自宅 7 には、放送塔の送信アンテナ 4 から放送されてきた放送電波を受信するための受信アンテナ 10 が設置されていると共に、受信アンテナ 10 によって受信されたアナログ地上波放送信号 12 はテレビ受像機 16 へ入力されている。視聴者はまた、携帯電話 31 を所有しており、携帯電話 31 を電話として使用できるばかりでなく、携帯電話事業者 33 の提供する情報ボックスダイヤル 35 にも、中継アンテナ 37 経由でアクセスすることができる。

【0161】放送事業者 1 は、例えば自局の放送する映

画番組の諸外国語による吹替え音声について、その著作権者との間で、当該吹替え音声についての配信許諾契約を締結している。放送事業者 1 はまた、委託事業者としての携帯電話事業者 33 をして、放送中の映画の外国語吹替え音声を提供する情報ボックスダイヤルサービスを運営させている。

【0162】いま、例えばポルトガル人である視聴者は、テレビ受像機 16 で受信中の映画について、ポルトガル語による吹替え音声で視聴したいと望んだとする。そこで視聴者は、携帯電話 31 を操作して、表示画面上に提示されている言語リストのなかから、例えば #8015 の情報ボックスにアクセスする。すると #8015 の情報ボックスでは、現在放送中の映画のポルトガル語での吹替え音声が発せられている。同様に、#8014 ではスペイン語、#8016 ではイタリア語による吹替え音声が発せられている。携帯電話事業者 33 は通常の通話料に加算して情報提供料を視聴者から徴収する。その対価の一部は放送事業者 1 の収入となって、ポルトガル語の吹替え音声の著作権料の支払いに当てられる。

【0163】本実施形態 3 によれば、外国人である視聴者は、母国語による吹替え音声で放送中の映画を楽しむことができる。

【0164】なお、上述した実施の形態は、本発明の理解を容易にするために例示的に記載したものであって、本発明の技術的範囲を限定するために記載したものではない。すなわち、本発明は、その技術的範囲に属する全ての実施の形態を含むことは当然として、そのいかなる均等物をも含む趣旨である。

【0165】具体的には、例えば、本発明に係る実施形態 1 ないし 3 について、それぞれ異なるサービス例を挙げて説明したが、こうしたサービス例は、各実施形態でのみ有効に用いられるものではなく、その他の実施形態に係る放送システムにおいても、同様に有効に用いることができることはいうまでもない。

【0166】

【発明の効果】以上説明したように本発明の情報提供方法によれば、テレビなどの放送では放送コンテンツを提供しつつ、放送コンテンツに関連のある情報を通信媒体によって提供することで、ユーザの多様化した情報要求ニーズに応えることができる。

【0167】すなわち請求項 1 に記載の方法によれば、1 の情報受信装置によって放送と通信とのコンテンツを相互に自由自在に視聴ないし閲覧することが可能となって、実質的に放送と通信との垣根は取払われて、将来の放送と通信とが融合したマルチメディア時代に対応することができるようになる。

【0168】請求項 2 に記載の方法によれば、インターネットという膨大な種類及び量の情報を入手可能な通信媒体を介して通信コンテンツを取得することで、視聴者は放送コンテンツに関連する様々な多彩な情報を自由自

在に入手することができるようになる。

【0169】請求項3に記載の方法によれば、放送事業者は自局の放送を流すのに先だって、視聴者に取得して欲しいと希望するような情報をみずから取捨選択して、これを放送コンテンツに関連づけられた通信コンテンツとして準備しておくことで、放送事業者が与えたい情報を通信コンテンツとして放送の視聴者に対して提供することができる。

【0170】請求項4に記載の方法によれば、テレビ放送の放送コンテンツに関連した情報を通信コンテンツとして、通信媒体を介して視聴者に提供することができる。

【0171】請求項5に記載の方法によれば、ラジオ放送の放送コンテンツに関連した情報を通信コンテンツとして、通信媒体を介して視聴者に提供することができる。

【0172】請求項6に記載の方法によれば、提供された通信コンテンツを、パソコン、PDA、携帯電話、PHS、又はインターネット接続機能を備えた放送受信装置若しくはホームサーバなどのような様々な装置によって取得することができる。

【0173】請求項7に記載の方法によれば、主としてテレビ放送について、種々様々な放送媒体によって放送される放送コンテンツに対し、同放送コンテンツの価値を増大させるような通信コンテンツを視聴者に与えることができる情報提供方法を提供することができる。

【0174】請求項8に記載の方法によれば、主としてラジオ放送について、種々様々な放送媒体によって放送される放送コンテンツに対し、同放送コンテンツの価値を増大させるような通信コンテンツを視聴者に与えることができる情報提供方法を提供することができる。

【0175】請求項9に記載の方法によれば、通信媒体として一般的に最も普及した電話回線、PHS回線、又は携帯電話回線を用いているので、例えばインターネットに加入していない世帯に対しても通信コンテンツを提供することができる。

【0176】請求項10に記載の方法によれば、通信媒体として現在急速に普及しつつあるインターネットを採用しているので、末端の視聴者にあつては、放送事業者が特別に準備した通信コンテンツ以外の情報についても、放送の視聴中に思いついた観点から、各種の情報を自由に検索して閲覧することが可能になる。

【0177】請求項11に記載の方法によれば、放送コンテンツのカテゴリに応じて、詳しくは後述するような多彩な通信コンテンツの提供が可能になる。

【0178】請求項12に記載の方法によれば、視聴者がニュースないし報道の内容について、もっと詳細な情報を知りたいと思ったり、数日間テレビを見ることがなかったためにニュースを見ても前後の事情がわからずにさっぱり要領を得ないといった場合など、視聴者の個別

のニーズに合致した情報を通信コンテンツとして提供することができるようになる。

【0179】請求項13に記載の方法によれば、結果的に裏が取れずに放送されることがなかった情報であっても、実際に報道する準備がなされるまでに至ったような、信憑性のかなり高い未確認情報について、放送コンテンツとは別個の通信コンテンツとして提供することができるようになる。また、取材の最前線にある記者自身が直接見聞きした情報を視聴者に提供することができるようになる。

【0180】請求項14に記載の方法によれば、例えば法案審議の詳細な過程などのような、放送コンテンツとしては提供しきれないような詳細な情報について、通信コンテンツとして視聴者に提供することによって、視聴者の欲求を満たすことができるようになる。

【0181】請求項15に記載の方法によれば、ニュースないし報道内容のこれまでの経緯という、放送する側にとってはごく簡単に提供可能でありながら、一般視聴者にとっては入手が困難であるという情報を通信コンテンツとして提供することによって、個別の視聴者の情報要求ニーズに応えることができる。

【0182】請求項16に記載の方法によれば、ニュースないし報道内容に関連をもった過去の出来事ないし事件という、放送する側にとってはごく簡単に提供可能でありながら、一般視聴者にとっては入手が困難であるという情報を通信コンテンツとして提供することによって、個別の視聴者の情報要求ニーズに応えることができる。

【0183】請求項17に記載の方法によれば、ニュースないし報道内容の対象とされている人物についてのプロフィール又は経歴という、放送する側にとってはごく簡単に提供可能でありながら、一般視聴者にとっては入手が困難であるという情報を通信コンテンツとして提供することによって、個別の視聴者の情報要求ニーズに応えることができる。

【0184】請求項18に記載の方法によれば、ニュースないし報道番組に登場するニュースキャスター又はアナウンサーについてのプロフィール又は経歴という、放送する側にとってはごく簡単に提供可能でありながら、一般視聴者にとっては一般的に入手が不可能であるという情報を通信コンテンツとして提供することによって、視聴者の好奇心を満足させることができる。

【0185】請求項19に記載の方法によれば、ニュースないし報道内容に出現する各種専門分野における用語についての解説、説明、又は関連するインターネットウェブサイトのアドレスを通信コンテンツとして提供するので、視聴者は自ら専門用語辞典を調べたりインターネットウェブサイトを検索したりする労力を要すること無く、手軽に未知の用語についての情報を得ることができる。

【0186】請求項20に記載の方法によれば、ドラマ番組の内容に関連した各種の情報を通信コンテンツとして提供するので、視聴者は以前よりも高い関心をもってドラマ番組を視聴するようになり、ひいてはドラマ番組の視聴率を向上させることができる。

【0187】請求項21に記載の方法によれば、視聴者にドラマ番組のこれまでのあらすじを通信コンテンツとして提供するので、ドラマ番組を途中から見はじめた視聴者もそれまでのストーリー展開や場面設定を理解することができ、即座に放送中のドラマの展開に追いついていくことができるようになる。この結果、何となくドラマ番組のチャンネルを選択してくれた視聴者を手放すことなく、ドラマ番組に引き止めておくことができるようになる。

【0188】請求項22に記載の方法によれば、例えばドラマ番組の放送開始直後に視聴を開始した視聴者には冒頭の部分についてのあらすじが提供され、ドラマ番組の中盤から視聴を開始した視聴者には前半部分についてのあらすじが提供されるようになる。

【0189】請求項23に記載の方法によれば、連作ドラマ番組の第3話から視聴を開始した視聴者には第1話と第2話とのあらすじが提供され、連作ドラマ番組の第7話から視聴を開始した視聴者には第1話から第6話までの部分についてのあらすじが提供されるようになる。

【0190】請求項24に記載の方法によれば、視聴者がいかなる形態の手段によって通信コンテンツを受信するかに応じて、それに応じた多様な手法であらすじを提供することができる。

【0191】請求項25に記載の方法によれば、せりふを文字化したデータは単に聴覚障害者を対象としたものではなく、詳しくは請求項26乃至29に具体的に記載されているような全く新規なユーザ層を発掘し獲得することができる。

【0192】請求項26に記載の方法によれば、視聴者にとって従来、一部のセルビデオやCS放送でしか得ることができなかった英語字幕を通信コンテンツとして得ることができる。これは特に英語学習者にとっては極めて魅力的なサービスの提供形態であるといえる。また、放送主体にとっても特にアメリカ映画のように制作時にキャプションデータを付与されている場合には、自ら英語字幕を書きおこす必要はなく、キャプションデータについての著作権許諾契約を締結するだけで足り、余分な労力を要求されることもない。

【0193】請求項27に記載の方法によれば、視聴者は自己のニーズに合致した形式の日本語字幕データを得ることが可能になる。例えば、日本語を学習中の在日外国人であれば、自己の日本語語学能力に応じて、ローマ字表記のせりふ、全文ひらがな表記のせりふ、漢字かな混じり表記のせりふのいずれかを選択して通信コンテンツとして取得して、映画の画面にスーパーインポーズさ

せて日本語を学んだり、パソコンに保存された字幕データを印刷して、聞取れなかったせりふをじっくりと学習することが可能になる。また、子供のいる家庭にあっては、例えば「アルプスの少女ハイジ」を見るのが大好きな小学生3年生の子供に、小学校4年生までの漢字を含んだ漢字かな混じり表記のせりふを取得して映像の画面に同期的に表示させ又は印刷して与えて、未習得の漢字を「ハイジ」のせりふと関連づけて自然な形で無理強いすることなく学習させることができるようになる。

【0194】請求項28に記載の方法によれば、二ヶ国語放送される例えばアメリカの映画を、放送では英語音声モードで受信して視聴しつつ、通信コンテンツとして得られた日本語字幕をスーパーインポーズさせることで、実質的にオリジナル言語の音声プラス日本語字幕の放送形態の視聴パターンをユーザ自らが選択することができるようになる。すなわち、二ヶ国語放送の多い中において、レンタルビデオでは日本語字幕つきオリジナル音声版にするか日本語吹替え版にするかを選択できるように、二ヶ国語放送（もちろん字幕は付いていない）のオリジナル音声を視聴しつつ、通信コンテンツとして日本語字幕の提供を受けて、日本語字幕つきオリジナル音声版の状態で映画を楽しむことができるようになる。

【0195】請求項29に記載の方法によれば、従来本国からビデオを取寄せるしか手段のなかった在日外国人が、母国語の字幕を通信コンテンツとして取得することで、最新の映画を韓国語やスペイン語などの母国語の字幕を付して見るができる。放送主体にとっても人気大作映画のように配給を受けた諸外国で既に翻訳された字幕をつけて放映されている映画については、自ら外国語字幕を書きおこす必要はなく、翻訳された字幕についての著作権許諾契約を締結するだけで足り、余分な労力を要求されることもない。

【0196】請求項30に記載の方法によれば、例えば視覚障害者を対象として、せりふの音声に加えて、場面の状況を解説するアナウンス音声を付加することで、視覚障害者であっても映画のストーリー展開を十分に理解できるように援助するようなサービスを提供することができる。もちろん、アナウンス音声を付加された情報は通信コンテンツとして放送とは別個に提供されるので、一般視聴者にとっては耳障りになることもない。こうしたサービスを提供することは福祉国家におけるマスメディアとしての社会的責務を達成することにつながる。

【0197】請求項31に記載の方法によれば、従来わざわざ英語吹替え版の日本のアニメビデオを外国から取寄せては、幼児に見せていた早期教育に熱心な母親たちに、通信コンテンツとして英語吹替え版の音声を提供することができる。また従来本国からビデオを取寄せるしか手段のなかった在日外国人も、母国語に吹替えられた音声を通信コンテンツとして受信することで、最新の映画を韓国語やスペイン語などの母国語に吹替えられた音

声で楽しむことができる。放送主体にとっても人気大作映画のように配給を受けた諸外国で既に吹替え版が制作されて放映されている映画については、自ら外国語音声に吹替える必要はなく、吹替えられた音声についての著作権許諾契約を締結するだけで足り、余分な労力を要求されることもない。

【0198】請求項32に記載の方法によれば、放送コンテンツで用いられている言語とは異なる言語で映画を楽しむみたい場合に、所望の外国語の吹替え音声データを通信コンテンツとして取得することで、当該外国で吹替えられて放映されているのと実質的に同一の状況を作り出すことができる。

【0199】請求項33に記載の方法によれば、例えば日本人男性とアメリカ人女性とが夫婦であるような場合、夫である日本人男性は日本語の吹替え版で映画を鑑賞したいと望むであろうし、妻であるアメリカ人女性は英語のオリジナル音声で鑑賞したいと望むであろう。いや、この夫婦が共に語学習得に熱心な人物ならば互いに逆の言語を望むこともあるかも知れない。また、日本人の世帯であっても、アメリカ転勤を控えた夫だけがオリジナル音声での鑑賞を望んで、家族の反発を買うかも知れない。こうした場合、従前の二ヶ国語放送では左のスピーカーからは日本語が、右のスピーカーからは英語が、それぞれ流れるように切換えることができる。しかし、実験してみればすぐに分かるようにあまり快適なものではない。一応、映画を鑑賞できるであろうが、満喫はできない。本請求項によれば、オリジナル言語を望む人物は通信コンテンツとして音声データを取得することで、その人だけがオリジナル言語での視聴を行なうことができる。

【0200】請求項34に記載の方法によれば、例えば二ヶ国語モードの搭載されていないテレビを所有している在日外国人（これは冗談ではない。滞在期間の限られた外国人は、自国に帰っても信号方式の違いのために使用できないようなテレビのために金を払わない。）に通信コンテンツとしてオリジナル音声を提供することができる。こうした場合には、請求項6に記載したうち、通信端末装置として携帯電話やPHSを採用するのが効果的であろう。

【0201】請求項35に記載の方法によれば、語学、例えば英語のリスニング力を強化したいと望んでいる末端ユーザに対して、映画の音声のうち英語のせりふ部分のみを抽出した語学教材を提供することができる。

【0202】請求項36に記載の方法によれば、単に放送でCMを流すだけでなく、通信媒体でCMの対象についての情報を提供するという手段によって、視聴者により多くの情報を提供することが可能となって、CMに付加価値を与えることができるので、このことはスポンサーにとって利益になるだけでなく、結果的に放送事業者にとっても広告料の増収につながる可能性がある。

【0203】請求項37に記載の方法によれば、視聴者は、CMによって広告されている商品又は役務について関心を抱いたときに、それはどのような性質ないし性能のものなのか、価格はいくらぐらいするのか、また、より詳しいパンフレット資料や説明を求めたい場合にはどこに問い合わせればよいのか、などといった情報を通信コンテンツとして得ることができる。

【0204】請求項38に記載の方法によれば、単にCM中で音楽を流すだけでなく、通信媒体で流されている音楽についての情報を提供するという手段によって、視聴者により多くの情報を提供することが可能となって、CMに付加価値を与えることができるので、このことは音楽著作権者にとって利益になるだけでなく、結果的に放送事業者にとっても広告料の増収につながる可能性がある。

【0205】請求項39に記載の方法によれば、ユーザが例えばテレビコマーシャルを視聴中に偶然気に入った音楽を耳にしたときには、その音楽を演奏しているアーティストやタイトル、その他のCD等を購入する上で必要になる書誌的事項を入手するようなことが可能となって、CD等の売上げを促進することができる。

【0206】請求項40に記載の方法によれば、視聴者が例えばテレビでCMを視聴中に偶然気に入った音楽を耳にしたときには、通信媒体を介して即座に該音楽の全曲をダウンロードして入手するようなことが可能となる。そしてダウンロードした音楽データはパソコン上で再生したり、MDにダビングしたり、小型のMP3プレーヤーで再生したりと繰返して楽しむことができる。この場合、後述する如く視聴者本人に情報料を課金してもよいが、課金の有無については本請求項では問題とされてはいない。

【0207】請求項41に記載の方法によれば、視聴者はCM中で演奏された音楽を気に入ったときに該音楽の着信メロディーデータを通信媒体を介してダウンロードすることで、自己の所有する携帯電話又はPHSの着信メロディーにすることができる。この場合、請求項6における通信端末装置として携帯電話又はPHSを選択した場合には、特段の作業を必要とすることなしに、データを携帯電話等でダウンロードして、これを直ちに着信メロディーとすることができる。また、通信端末装置としてパソコンを選択した場合には、パソコンから携帯電話等へ着信メロディーのデータを転送する作業が必要となるが、パソコンの大容量ハードディスクに何百曲、何千曲という着信メロディーライブラリを保存しておくことができ、適宜、携帯電話へ転送してその日の気分にあった着信メロディーを採用することができる。さらに、いまだCDさえ発売されていない時点で最新のCMソングを着信メロディーとすることができれば、ユーザは他人に対する優越感にも似た満足感を得られるだろう。

【0208】請求項42に記載の方法によれば、例えば

請求項40に記載した発明において、コンテンツサーバ、放送主体、又は情報提供主体は音楽の著作権者と事前に配信についての許諾契約を締結しておき、例えばMP3形式の全曲データをダウンロードしたユーザから対価を徴収することができる。

【0209】請求項43に記載の方法によれば、例えば請求項31又は請求項32に記載した発明において、放送事業者がハリウッド制作映画を放送するに際して、そのブラジル語吹替え音声を情報提供主体としての携帯電話事業者に提供したような場合、ユーザは携帯電話事業者の指定する情報ボックスダイヤル番号に携帯電話から電話をかけることによって、現にテレビで放送中の映画のブラジル語吹替え音声を楽しむことができる。携帯電話事業者は通話料及び／又は情報料としてユーザから料金を徴収することができ、一方、放送事業者は携帯電話事業者から通信コンテンツの提供の対価を得ることができる。

【0210】請求項44に記載の装置によれば、1の情報受信装置によって放送コンテンツを楽しむことができると共に、該装置のリモコンなどの簡単な操作によって通信コンテンツをも楽しむことができ、末端のユーザの利便性を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態1に係る情報提供方法を説明

する説明図である。

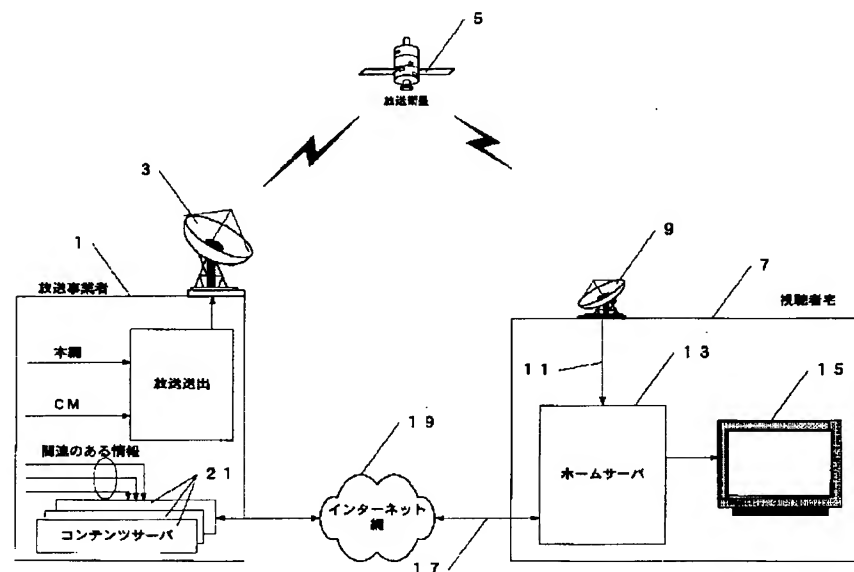
【図2】本発明の実施形態2に係る情報提供方法を説明する説明図である。

【図3】本発明の実施形態3に係る情報提供方法を説明する説明図である。

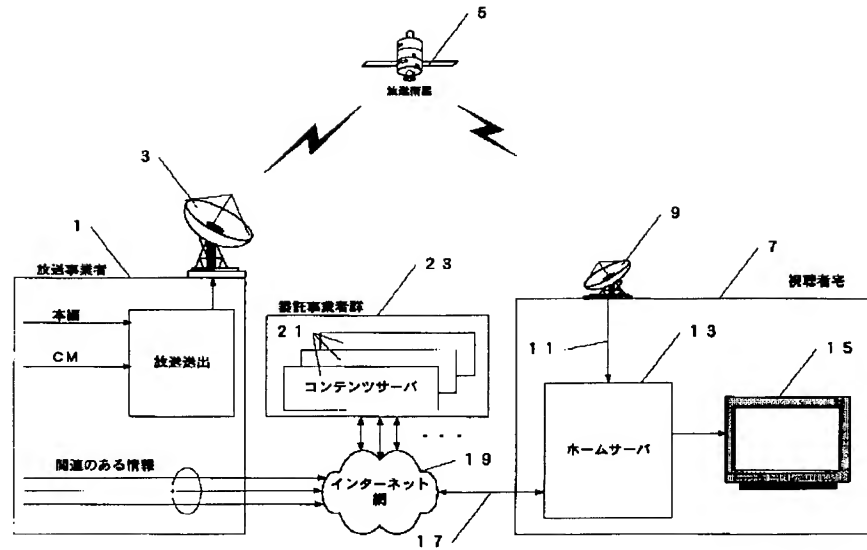
【符号の説明】

- 1 放送事業者（放送主体）
- 3, 4 送信アンテナ
- 5 放送衛星
- 7 視聴者自宅
- 9, 10 受信アンテナ
- 11 BSデジタル放送信号
- 12 アナログ地上波放送信号
- 13 ホームサーバ
- 15 高品位テレビ受像機
- 16 テレビ受像機
- 17 通信回線
- 19 インターネット網
- 21 コンテンツサーバ
- 23 委託事業者群（情報提供主体）
- 31 携帯電話
- 33 携帯電話事業者（委託事業者）
- 35 情報ボックス
- 37 中継アンテナ

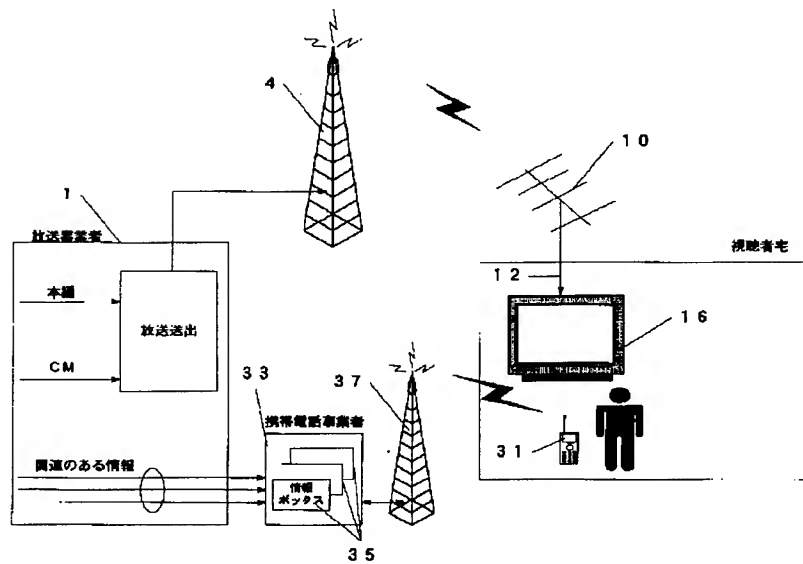
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

H 0 4 H 1/00

H 0 4 N 5/44

5/445

7/025

7/03

識別記号

F I

H 0 4 H 1/00

H 0 4 N 5/44

5/445

7/08

テマコード (参考)

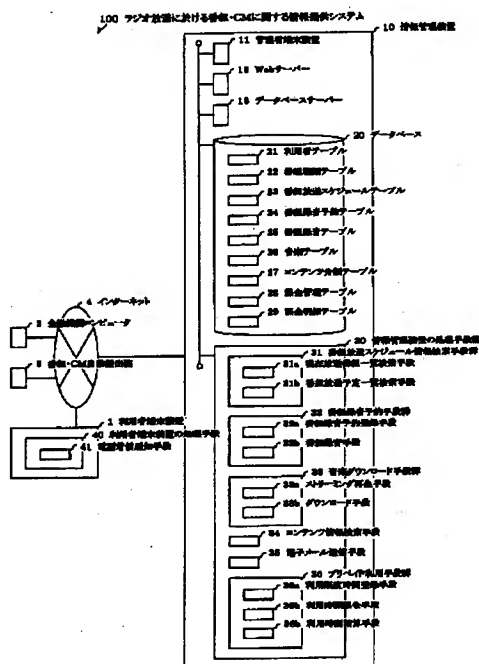
B

A

Z

A

7/035



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ラジオ放送の内容からリスナーが選択する情報を、リスナーが保有する利用者端末装置を介して、通信ネットワーク上で、当該ラジオ放送についてのデータベースに、情報検索手段を介してアクセスし、リスナーの要求する情報を前記利用者端末装置に送信する情報提供システムであって、前記情報提供システムは、上記データベースにラジオ放送の内容に関する所要の情報を予め収集してあり、前記データベースへのリスナーのアクセスを許容する利用者端末登録手段を備えていることを特徴とする、ラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 2】 前記情報検索手段は、前記利用者端末装置からのコンテンツ情報検索要求に回答して、前記データベースに記録したコンテンツ情報を検索するコンテンツ情報検索手段を備えていることを特徴とする、請求項 1 に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 3】 前記データベースに記録したコンテンツ情報は、音楽番組と情報番組とニュース番組とCMに於いて、番組ダイジェストと出演者と楽曲と場所と店舗と旅館と施設と機関と団体と自治体と商品とランキングと賞品とプレゼントとイベントとキャンペーンと商品販売についての全ての情報、または、幾つかから選択される情報を備えていることを特徴とする、請求項 2 に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 4】 前記情報検索手段は、前記利用者端末装置からの番組放送スケジュール情報検索要求に回答して、前記データベースに記録した番組放送スケジュール情報を検索する番組放送スケジュール情報検索手段を備えていることを特徴とする、請求項 1 に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 5】 前記番組放送スケジュール情報検索手段は、番組種類を指定し、現在放送している番組の中で、指定した番組種類に属する番組一覧を検索する現在放送番組一覧検索手段と、番組種類と放送期間を指定し、指定した放送期間に放送される番組の中で、指定した番組種類に属する番組の放送予定一覧を検索する番組放送予定一覧検索手段とを備えていることを特徴とする、請求項 4 に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 6】 前記利用者端末装置からの番組録音予約登録要求に回答して、前記番組放送予定一覧検索手段により取得した番組の中で録音する番組を選択し、選択した番組の録音予約情報を前記データベースに登録する番組録音予約登録手段と、前記番組録音予約登録手段により登録した前記番組録音予約情報の番組が放送開始日時に達した時、前記番組録音予約情報の番組を前記データベースに登録する番組録音手段とを備えていることを特

徴とする、請求項 1 と請求項 5 の何れか 1 項に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 7】 前記リスナーが当該ラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報の提供を受ける際に、前もって、利用限度時間に相当する利用料金を前記管理機構の取引口座へ振込み、前記データベースに登録する利用限度時間登録手段と、前記リスナーが利用した時間を前記データベースに積算する利用時間課金手段と、前記リスナーの届出により、前記リスナーの利用限度残時間に相当する利用残料金を前記リスナーの取引口座に振込み、前記リスナーの精算時間を前記データベースに登録する利用時間精算手段とを備えることを特徴とする、請求項 1 に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 8】 前記利用者端末装置からのストリーミング再生要求に回答して、前記データベースに記録した音楽情報を検索して、選択した音楽情報をストリーミング再生するストリーミング再生手段と、前記利用者端末装置からのダウンロード要求に回答して、前記ストリーミング再生手段によりストリーミング再生した音楽情報を前記利用者端末装置にダウンロードするダウンロード手段とを備えていることを特徴とする、請求項 1 に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 9】 前記利用者端末装置からの電子メール送信要求を受け付けて、前記データベースに登録したメールアドレスを取得して、番組からのプレゼント案内に対するプレゼント申込と、番組・CMに対する要望と感想とを記録した電子メールを放送局の番組窓口およびスポンサーのCM窓口へ送信する電子メール送信手段を備えることを特徴とする、請求項 1 に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 10】 前記コンテンツ情報検索手段と前記ストリーミング再生手段と前記電子メール送信手段は、受信中の番組・CMより番組・CMを特定し、特定した番組・CMが構成する情報の中から目的とする情報を選択する機能を備えることを特徴とする、請求項 2 と請求項 8 と請求項 9 の何れか 1 項に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【請求項 11】 前記利用者端末装置がラジオ放送を受信中に、電話の着信をキャッチした場合、着信音と着信通知メッセージにより告知する電話着信通知手段を備えることを特徴とする、請求項 1 に記載のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、主として、リスナーによって聴取されたラジオ放送の内容から、リスナーが得た情報を、当該リスナーの要求に応じて提供する情

報提供システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来から、携帯ラジオなど、リスナーが保有している受信機器には、その機能として、現在地に於ける受信可能なラジオ放送の周波数を調査するオートチューニング機能や番組録音機能などの機能が装備されているが、これらは何れもハードウェアを中心とした機能にとどまっており、リスナーの要求に応じた情報提供サービスを受ける機能は装備されていない。

【0003】また、ラジオ放送の内容について、リスナーの要求に応じた情報提供サービスについても、ラジオ放送の関連情報提供事業が放送局の主たる事業ではないことと、番組放送時間の制約もあってリスナーに対して十分な対応がなされていない問題があった。

【0004】さらに、最近では、デジタル放送の開始に伴い、リスナーと放送局との間で行われる双方向通信が可能となっているが、その専用機器の設備が必要であり、当該リスナーが上述のような情報提供サービスを簡易に取得することができない。特にラジオ放送の内容を聴取したリスナーが即時的に、その内容、例えば、CMから商品取得の情報などを入手する簡便な手段がない。

【0005】そこで、この問題を解決するために、例えば、携帯ラジオと携帯情報取得端末とを統合したような、情報武装化した携帯ラジオ・情報取得端末などの機器の開発が必要となるが、これに先立って、リスナーからアクセスできる情報提供システムが用意されなければならない。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】以上のような問題を解決するために本発明では、ラジオ放送の内容からリスナーが選択する情報を、リスナーが保有する利用者端末装置を介して、通信ネットワーク上で、当該ラジオ放送についてのデータベースに、情報検索手段を介してアクセスし、リスナーの要求する情報を前記利用者端末装置に送信する情報提供システムを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、ラジオ放送の内容からリスナーが選択する情報を、リスナーが保有する利用者端末装置を介して、通信ネットワーク上で、当該ラジオ放送についてのデータベースに、情報検索手段を介してアクセスし、リスナーの要求する情報を前記利用者端末装置に送信する情報提供システムであって、前記情報提供システムは、上記データベースにラジオ放送の内容に関する所要の情報を予め収集してあり、前記データベースへのリスナーのアクセスを許容する利用者端末登録手段を備えていることを特徴とする。これらにより、リスナーは、前記情報提供システムに登録された利用者端末装置よりラジオ放送の内容について、リスナーの要求に応じた情報を検索することができる。

【0008】請求項2に記載の発明は、前記情報検索手段は、前記利用者端末装置からのコンテンツ情報検索要求に応答して、前記データベースに記録したコンテンツ情報を検索するコンテンツ情報検索手段を備えていることを特徴とする。このことにより、リスナーは、ラジオ放送中の番組・CMの中で、知りたいことがあった場合、利用者端末装置より目的とする情報を検索することができる。

【0009】請求項3に記載の発明は、前記データベースに記録したコンテンツ情報は、音楽番組と情報番組とニュース番組とCMに於いて、番組ダイジェストと出演者と楽曲と場所と店舗と旅館と施設と機関と団体と自治体と商品とランキングと賞品とプレゼントとイベントとキャンペーンと商品販売についての全ての情報、または、幾つかから選択される情報を備えていることを特徴とする。このことにより、放送局がリスナーに対して情報発信する番組およびCMについて、番組およびCMの製作に関連した情報を検索することができる。

【0010】請求項4に記載の発明は、前記情報検索手段は、前記利用者端末装置からの番組放送スケジュール情報検索要求に応答して、前記データベースに記録した番組放送スケジュール情報を検索する番組放送スケジュール情報検索手段を備えていることを特徴とする。このことにより、リスナーは、利用者端末装置より通信ネットワーク上に送信される全てのラジオ放送の番組放送スケジュール情報を検索することができる。

【0011】請求項5に記載の発明は、前記番組放送スケジュール情報検索手段は、番組種類を指定し、現在放送している番組の中で、指定した番組種類に属する番組一覧を検索する現在放送番組一覧検索手段と、番組種類と放送期間を指定し、指定した放送期間に放送される番組の中で、指定した番組種類に属する番組の放送予定一覧を検索する番組放送予定一覧検索手段とを備えていることを特徴とする。これらにより、リスナーは、利用者端末装置より各放送局が現在、通信ネットワーク上に送信している番組または、これから送信予定の番組の中で、リスナーが希望する番組種類に属する番組放送スケジュール情報を検索することができる。

【0012】請求項6に記載の発明は、前記利用者端末装置からの番組録音予約登録要求に応答して、前記番組放送予定一覧検索手段により取得した番組の中で録音する番組を選択し、選択した番組の録音予約情報を前記データベースに登録する番組録音予約登録手段と、前記番組録音予約登録手段により登録した前記番組録音予約情報の番組が放送開始日時に達した時、前記番組録音予約情報の番組を前記データベースに登録する番組録音手段とを備えていることを特徴とする。これらにより、リスナーは、利用者端末装置より検索した番組放送予定一覧の中で、聞きたい番組が放送される日時に聞くことができない場合、若しくは、繰り返し聞きたい番組が放送さ

れる場合は、その番組の録音を予約して、後で録音を予約した番組を聞くことができる。

【0013】請求項7に記載の発明は、前記リスナーが当該ラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報の提供を受ける際に、前もって、利用限度時間に相当する利用料金を前記管理機構の取引口座へ振込み、前記データベースに登録する利用限度時間登録手段と、前記リスナーが利用した時間を前記データベースに積算する利用時間課金手段と、前記リスナーの届出により、前記リスナーの利用限度残時間に相当する利用残料金を前記リスナーの取引口座に振込み、前記リスナーの精算時間を前記データベースに登録する利用時間精算手段とを備えていることを特徴とする。これらは、リスナーがこのラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報の提供を受けるに当たって、前もってリスナーが利用予定時間に対する利用料金を振込み、情報検索時の利用者端末装置に出力した利用限度時間をリスナー自身が監視することにより、過剰利用を抑止することができ、中断もしくは脱会する場合には、残った利用予定時間に相当する利用料金を精算することができる。

【0014】請求項8に記載の発明は、前記利用者端末装置からのストリーミング再生要求に応答して、前記データベースに登録した音楽情報を検索して、選択した音楽情報をストリーミング再生するストリーミング再生手段と、前記利用者端末装置からのダウンロード要求に回答して、前記ストリーミング再生手段によりストリーミング再生した音楽情報を前記利用者端末装置にダウンロードするダウンロード手段とを備えていることを特徴とする。これらにより、リスナーは、ラジオ放送中の番組・CMの中で、気に入った音楽が放送された場合、その音楽を利用者端末装置にダウンロードして電話機の着信メロディとして利用することができる。

【0015】請求項9に記載の発明は、前記利用者端末装置からの電子メール送信要求を受け付けて、前記データベースに登録したメールアドレスを取得して、番組からのプレゼント案内に対するプレゼント申込と、番組・CMに対する要望と感想とを記録した電子メールを放送局の番組窓口およびスポンサーのCM窓口へ送信する電子メール送信手段を備えていることを特徴とする。このことにより、リスナーは、ラジオ放送中の番組・CMに関する要望や感想やプレゼントの申込を利用者端末装置より電子メールにて送信したい場合、電子メールの送信先である番組担当窓口またはスポンサーのCM担当窓口のメールアドレスを必要な時に容易に取得することができる。

【0016】請求項10に記載の発明は、前記コンテンツ情報検索手段と前記ストリーミング再生手段と前記電子メール送信手段は、受信中の番組・CMより番組・CMを特定し、特定した番組・CMが構成する情報の中から目的とする情報を選択する機能を備えていることを特

徴とする。このことにより、リスナーは、受信中の番組・CMの番組名、CM名を聞き漏らしても、受信中の番組・CMに設定された番組・CMを特定するコードにより、特定した番組・CMに関連する体系化された情報階層の構造を有するデータベースを検索して目的の情報を絞り込むことによって、必要な時に容易に目的の情報を取得することができる。

【0017】請求項11に記載の発明は、前記利用者端末装置がラジオ放送を受信中に、電話の着信をキャッチした場合、着信音と着信通知メッセージにより告知する電話着信通知手段を備えていることを特徴とする。このことにより、リスナーが携帯無線電話に接続したイヤホンを使用してラジオ放送を聞いている最中に、電話の着信があった場合は、携帯無線電話に送信した着信音と着信通知メッセージにより、リスナーに電話の着信の告知を行うことができる。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係わる情報提供システムの一実施形態を、図に基づいて詳細に説明する。

【0019】図1は本発明のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム100のシステム構成を示す模式図である。

【0020】図1に示すようにラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム100は、リスナーが備える利用者端末装置1と、放送局が備える番組・CM自動搬出装置2と、金融機関が備える金融機関コンピュータ3と、利用者端末装置1と番組・CM自動搬出装置2と金融機関コンピュータ3とがインターネット4を介して接続されるデータベース（後述）を装備した、ラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報を提供する管理機構（例えば、当該放送局との提携ができていない管理機構）が備える情報管理装置10とから構成される。

【0021】情報管理装置10は、ラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供業務を遂行するために必要な情報を登録するデータベース20と、管理者端末装置11と、利用者端末装置1からの検索要求を受信して、データベース20の検索結果をインターネット4を介して送信するWebサーバー12と、データベースを管理するデータベースサーバー13を備える。

【0022】データベース20は、利用者テーブル21と番組種類テーブル22と番組放送スケジュールテーブル23と番組録音予約テーブル24と番組録音テーブル25と音楽テーブル26とコンテンツ分類テーブル27と課金管理テーブル28と課金明細テーブル29とを備える。

【0023】利用者テーブル21は、ラジオ放送に於ける番組・CMのコンテンツ情報の提供を受ける利用者の会員登録情報を記録するものである。会員登録情報には、第1検索キー部である利用者番号と、IDとパスワードとからなる第2検索キー部と、データ部に属する氏

名、生年月日、性別、住所、電話番号、メールアドレス、銀行名、銀行支店名、預金種別、口座番号、登録年月日などの情報が含まれる。

【0024】番組種類テーブル22は、ラジオ放送の番組種類情報を記録するものである。番組種類情報には、検索キー部である番組種類コードと、データ部に属する番組種類名などの情報が含まれる。

【0025】番組放送スケジュールテーブル23は、ラジオ放送に於ける番組放送スケジュール情報を記録するものである。番組放送スケジュール情報には、番組種類コードと放送年月日と放送開始時刻と放送局コードとからなる第1検索キー部と、放送局コードと番組CM区分と番組CMコードとからなる第2検索キー部と、データ部は番組CM区分が番組の場合は、放送時間、番組名、番組サブタイトル、出演者名、番組担当窓口のメールアドレスなどの情報を含み、番組CM区分がCMの場合は、放送時間、スポンサー名、CM商品名、CM担当窓口のメールアドレスなどの情報を含む。

【0026】番組録音予約テーブル24は、録音する番組を予約登録する番組録音予約情報を記録するものである。番組録音予約情報には、放送年月日と放送開始時刻と放送局コードとからなる第1検索キー部と、第2検索キー部である利用者番号と、データ部に属する録音時間、番組名、番組CMコード、録音番号などの情報が含まれる。

【0027】番組録音テーブル25は、録音する番組を記録するものである。番組録音情報には、検索キー部である録音番号と、データ部に属する録音番組などの情報が含まれる。

【0028】音楽テーブル26は、利用者端末装置にダウンロードする音楽情報を記録するものである。音楽情報には、放送局コードと番組CM区分と番組CMコードと曲名コードとからなる検索キー部と、データ部に属する曲名と音楽などの情報が含まれる。

【0029】コンテンツ分類テーブル27は、ラジオ放送に於ける番組・CMの大分類コンテンツ情報と中分類コンテンツ情報と小分類コンテンツ情報を記録するものである。大分類コンテンツ情報には、放送局コードと番組CM区分と番組CMコードと情報区分と大分類番号とからなる検索キー部と、データ部に属する大分類コンテンツ情報名などの情報が含まれる。中分類コンテンツ情報には、放送局コードと番組CM区分と番組CMコードと情報区分と大分類番号と中分類番号とからなる検索キー部と、データ部に属する中分類コンテンツ情報名などの情報が含まれる。小分類コンテンツ情報には、放送局コードと番組CM区分と番組CMコードと情報区分と中分類番号と小分類番号とからなる検索キー部と、データ部に属する小分類コンテンツ情報名、コンテンツ情報内容、メールアドレスなどの情報が含まれる。なお、情報区分は、大分類コンテンツ情報と中分類コンテンツ情報

と小分類コンテンツ情報を設定し、大分類コンテンツ情報として、音楽番組と情報番組とニュース番組とCMに於いて、番組ダイジェスト、出演者、楽曲、場所、店舗、旅館、施設、機関、団体、自治体、商品、ランキング、賞品、プレゼント、イベント、キャンペーン、商品販売などの情報を登録する。

【0030】課金管理テーブル28は、リスナーが番組・CMコンテンツ情報を利用した課金管理情報を記録するものである。課金管理情報には、検索キー部である利用者番号と、データ部に属する利用申込時間、利用合計時間、利用限度時間、精算時間などの情報が含まれる。

【0031】課金明細テーブル29は、リスナーが番組・CMコンテンツ情報を利用した課金明細情報を記録するものである。課金明細情報には、利用者番号と利用年月日とからなる検索キー部と、データ部に属する利用申込時間、利用時間、精算時間などの情報が含まれる。

【0032】次に、情報管理装置の処理手段群30が、インターネット4を介して利用者端末装置1の要求信号に応答して、データベース20の検索更新を行う処理手順について詳細に説明する。図2、図3は本発明の情報管理装置の処理手段群の処理の流れ図であり、処理手段は以下の6手段から構成される。

【0033】これらは、番組放送スケジュール情報検索手段群31と番組録音予約手段群32と音楽ダウンロード手段群33とコンテンツ情報検索手段34と電子メール送信手段35とプリペイド利用手段群36とである。番組放送スケジュール情報検索手段群31は、現在放送番組一覧検索手段31aと番組放送予定一覧検索手段31bとから構成される。番組録音予約手段群32は、番組録音予約登録手段32aと番組録音手段32bとから構成される。音楽ダウンロード手段群33は、ストリーミング再生手段33aとダウンロード手段33bとから構成される。プリペイド利用手段群36は、利用限度時間登録手段36aと利用時間課金手段36bと利用時間精算手段36cとから構成される。

【0034】まず、利用者端末装置1と管理者端末装置11より入力されたID、パスワードにより使用権を判定して使用権があれば、利用者端末装置1の場合はメニュー選択入力Webページを送信し、管理者端末装置11の場合はメニュー選択入力画面を送信する。

【0035】現在放送番組一覧検索手段31aは、利用者端末装置1からの現在放送番組一覧検索要求に応答して、番組種類を指定し、現在放送している番組の中で、指定した番組種類に属する番組一覧を番組放送スケジュールテーブル23に記録した番組放送スケジュール情報より検索する。

【0036】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 利用者端末装置1からの現在放送番組一覧検索要求信号に応答して、使用権の判定時に認証したID、パスワードにより利用者テーブル21を検索して会員登録

情報を取得する。

(2) 取得した会員登録情報より課金管理テーブルを検索して課金管理情報を取得する。

(3) 番組種類テーブル22を検索して番組種類情報を取得し、取得した課金管理情報と番組種類情報一覧が予め編集されている現在放送番組一覧検索・番組種類選択Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(4) 利用者端末装置1からの番組種類情報の選択を受け付けて、選択した番組種類情報とシステム日付とシステム時刻により番組放送スケジュールテーブル23を検索して番組放送スケジュール情報を取得する。

(5) 取得した番組放送スケジュール情報一覧が予め編集されている現在放送番組一覧検索Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

【0037】番組放送予定一覧検索手段31bは、利用者端末装置1からの番組放送予定一覧検索要求に応答して、番組種類と放送期間を指定し、指定した放送期間に放送される番組の中で、指定した番組種類に属する番組の放送予定一覧を番組放送スケジュールテーブル23に記録した番組放送スケジュール情報より検索する。

【0038】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 利用者端末装置1からの番組放送予定一覧検索要求信号に応答して、使用権の判定時に認証したID、パスワードにより利用者テーブル21を検索して会員登録情報を取得する。

(2) 取得した会員登録情報より課金管理テーブルを検索して課金管理情報を取得する。

(3) 番組種類テーブル22を検索して番組種類情報を取得し、取得した課金管理情報と番組種類情報一覧が予め編集されている番組放送予定一覧検索・番組種類選択・放送期間入力Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(4) 利用者端末装置1からの番組種類情報の選択と放送期間の入力を受け付けて、選択した番組種類情報と入力した放送期間により番組放送スケジュールテーブル23を検索して番組放送スケジュール情報を取得する。

(5) 取得した番組放送スケジュール情報一覧が予め編集されている番組放送予定一覧検索Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

【0039】番組録音予約登録手段32aは、利用者端末装置1からの番組録音予約登録要求に応答して、番組放送予定一覧検索手段31bにより取得した番組の中で録音する番組を選択し、選択した番組の録音予約情報を番組録音予約テーブル24に登録する。

【0040】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 番組放送予定一覧検索手段31bにより、取得した課金管理情報と番組放送スケジュール情報一覧が予め編集されている番組放送予定一覧検索Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(2) 利用者端末装置1からの番組録音予約登録要求信号に応答して、取得した番組放送スケジュール情報一覧が予め編集されている番組録音予約登録・番組選択Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(3) 利用者端末装置1からの番組放送スケジュール情報の選択を受け付けて、選択した番組放送スケジュール情報が予め編集されている番組録音予約登録確認Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(4) 利用者端末装置1からの確認OKの選択を受け付けて、使用権の判定時に認証したID、パスワードにより利用者テーブル21を検索して会員登録情報を取得する。

(5) 選択した番組放送スケジュール情報と取得した会員登録情報より録音予約情報を作成し番組録音予約テーブル24に登録する。

【0041】番組録音手段32bは、番組録音予約登録手段32aにより登録した番組録音予約情報の番組が放送開始日時に達した時、番組録音予約情報の番組を番組録音テーブル26に登録する。

【0042】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 情報管理装置10からの自動起動要求信号に応答して、番組録音予約テーブル24を放送年月日および放送開始時刻の昇順に検索する。

(2) 放送年月日および放送開始時刻がシステム日付およびシステム時刻より大きい番組録音予約情報を対象に、システム日付およびシステム時刻が放送年月日および放送開始時刻になるまでウェイトする。

(3) ウェイトが解除されたら、番組録音予約情報に設定した放送年月日と放送開始時刻と放送局コードと番組CMコードと録音時間により録音する番組を受信して、録音番号を設定した番組録音情報を番組録音テーブル25に登録し、番組録音予約情報に録音番号を設定して番組録音予約テーブル24に登録する。

(4) 番組録音予約テーブル24を検索して、全ての番組録音予約情報に対して(2)から(3)を繰り返す。

【0043】ストリーミング再生手段33aは、利用者端末装置1からのストリーミング再生要求に応答して、受信中の番組・CMより番組・CMを特定し、音楽テーブル26に記録した音楽情報を検索し、選択した音楽情報をストリーミング再生する。

【0044】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 利用者端末装置1からのストリーミング再生要求信号に応答して、使用権の判定時に認証したID、パスワードにより利用者テーブル21を検索して会員登録情報を取得する。

(2) 取得した会員登録情報より課金管理テーブルを検索して課金管理情報を取得する。

(3) 受信中の番組・CMに設定された放送局コードと番組CM区分と番組CMコードを取得する。

(4) 取得した放送局コードと番組CM区分と番組CM

コードにより、音楽テーブル26を検索して音楽情報を取得し、取得した課金管理情報と音楽情報一覧が予め編集されているストリーミング再生・曲名選択Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(5) 利用者端末装置1からの曲名の選択を受け付けて、選択した曲名の音楽情報に登録した音声を利用者端末装置1に送信する。

(6) 利用者端末装置1は、情報管理装置10からの音声の送信を受信して、受信した音声をストリーミング再生する。

【0045】ダウンロード手段33bは、利用者端末装置1からのダウンロード要求に回答して、ストリーミング再生手段33aによりストリーミング再生した音楽情報を利用者端末装置1にダウンロードする。

【0046】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) ストリーミング再生手段33aにより、利用者端末装置1は、情報管理装置10から送信した音声を受信して、受信した音声をストリーミング再生する。

(2) 利用者端末装置1からのダウンロード要求信号に回答して、ストリーミング再生した音楽情報を音楽テーブル26を検索して利用者端末装置1にダウンロードする。

【0047】コンテンツ情報検索手段34は、利用者端末装置1からのコンテンツ情報検索要求に回答して、受信中の番組・CMより番組・CMを特定し、コンテンツ分類テーブル27に記録したコンテンツ情報を検索する。

【0048】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 利用者端末装置1からのコンテンツ情報検索要求信号に回答して、使用権の判定時に認証したID、パスワードにより利用者テーブル21を検索して会員登録情報を取得する。

(2) 取得した会員登録情報より課金管理テーブルを検索して課金管理情報を取得する。

(3) 受信中の番組・CMに設定された放送局コードと番組CM区分と番組CMコードを取得する。

(4) 取得した放送局コードと番組CM区分と番組CMコードと、情報区分に大分類コンテンツ情報を設定してコンテンツ分類テーブル27を検索し、大分類コンテンツ情報を取得する。

(5) 取得した課金管理情報と大分類コンテンツ情報一覧が予め編集されているコンテンツ情報検索・大分類選択Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(6) 利用者端末装置1からの大分類コンテンツ情報の選択を受け付けて、情報区分に中分類コンテンツ情報と選択した大分類番号を設定してコンテンツ分類テーブル27を検索し、中分類コンテンツ情報を取得する。

(7) 取得した中分類コンテンツ情報一覧が予め編集されているコンテンツ情報検索・中分類選択Webページ

を要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(8) 利用者端末装置1からの中分類コンテンツ情報の選択を受け付けて、情報区分に小分類コンテンツ情報と選択した小分類番号を設定してコンテンツ分類テーブル27を検索し、小分類コンテンツ情報を取得する。

(9) 取得した小分類コンテンツ情報一覧が予め編集されているコンテンツ情報検索・小分類選択Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(10) 利用者端末装置1からの小分類コンテンツ情報の選択を受け付けて、コンテンツ情報内容が予め編集されているコンテンツ情報検索Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

【0049】電子メール送信手段35は、利用者端末装置1からの電子メール送信要求を受け付けて、受信中の番組・CMより番組・CMを特定し、番組放送スケジュールテーブル23に記録したメールアドレスを取得して、番組からのプレゼント案内に対するプレゼント申込と、番組・CMに対する要望と感想とを記録した電子メールを放送局の番組担当窓口およびスポンサーのCM担当窓口へ送信する。

【0050】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 利用者端末装置1からの電子メール送信要求信号に回答して、使用権の判定時に認証したID、パスワードにより利用者テーブル21を検索して会員登録情報を取得する。

(2) 取得した会員登録情報より課金管理テーブルを検索して課金管理情報を取得する。

(3) 受信中の番組・CMに設定された放送局コードと番組CM区分と番組CMコードを取得する。

(4) 取得した放送局コードと番組CM区分と番組CMコードと、システム日付とシステム時刻により番組放送スケジュールテーブル23を検索して番組放送スケジュール情報を取得する。

(5) 取得した課金管理情報と番組放送スケジュール情報に設定したメールアドレスが予め編集されている電子メール送信・メール内容入力Webページを要求のあった利用者端末装置1に送信する。

(6) 利用者端末装置1からのメール内容の入力を受け付けて、放送局の番組担当窓口またはスポンサーのCM担当窓口へ電子メールを送信する。

【0051】利用限度時間登録手段36aは、管理者端末装置11からの利用限度時間登録要求に回答して、リスナーが利用するラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システムの利用限度時間を課金管理テーブル28と課金明細テーブル29に登録する。

【0052】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 管理者端末装置11からの利用限度時間登録要求信号に回答して、利用限度時間登録画面・利用者番号入力を管理者端末装置11に送信する。

(2) 管理者端末装置11からの利用者番号の入力を受

け付けて、利用者テーブル 21 を検索して会員登録情報を取得し、課金管理テーブル 28 を検索して課金管理情報を取得する。

(3) 取得した会員登録情報と課金管理情報が予め編集されている利用限度時間登録画面を要求のあった管理者端末装置 11 に送信する。

(4) 管理者端末装置 11 からの利用申込時間の入力を受け付けて、取得した会員登録情報と課金管理情報と入力した利用申込時間が予め編集されている利用限度時間登録確認画面を要求のあった管理者端末装置 11 に送信する。

(5) 管理者端末装置 11 からの確認 OK の選択を受け付けて、入力した利用申込時間を課金管理情報の利用申込時間と利用限度時間に加算して課金管理テーブル 28 を更新し、課金明細情報を課金明細テーブル 29 に登録する。

【0053】利用時間課金手段 36b は、現在放送番組一覧検索手段 31a と番組放送予定一覧検索手段 31b と番組録音予約登録手段 32a と番組録音手段 32b とストリーミング再生手段 33a とダウンロード手段 33b とコンテンツ情報検索手段 34 と電子メール送信手段 35 により、リスナーが利用した時間を課金管理テーブル 28 と課金明細テーブル 29 に登録する。

【0054】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 使用権の判定時に認証した ID、パスワードにより利用者テーブル 21 を検索して会員登録情報を取得する。

(2) 現在放送番組一覧検索手段 31a と番組放送予定一覧検索手段 31b と番組録音予約登録手段 32a と番組録音手段 32b とストリーミング再生手段 33a とダウンロード手段 33b とコンテンツ情報検索手段 34 と電子メール送信手段 35 に於いて、各手段を利用した利用開始と利用終了のシステム日付とシステム時刻により、利用時間を取得する。

(3) 取得した会員登録情報により課金管理テーブル 28 を検索して、取得した利用時間を課金管理情報の利用合計時間に加算し、課金管理情報の利用限度時間から利用時間を減算して課金管理テーブル 28 を更新し、課金明細情報を課金明細テーブル 29 に登録する。

【0055】利用時間精算手段 36c は、管理者端末装置 11 からの利用時間精算要求に応答して、リスナーの利用限度残時間に相当する利用残料金をリスナーの取引口座に振込み、リスナーの精算時間を課金管理テーブル 28 と課金明細テーブル 29 に登録する。

【0056】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 管理者端末装置 11 からの利用時間精算要求信号に応答して、利用時間精算画面・利用者番号入力を管理者端末装置 11 に送信する。

(2) 管理者端末装置 11 からの利用者番号の入力を受け付けて、利用者テーブル 21 を検索して会員登録情報を

を取得し、課金管理テーブル 28 を検索して課金管理情報を取得する。

(3) 取得した会員登録情報と課金管理情報が予め編集されている利用時間精算確認画面を要求のあった管理者端末装置 11 に送信する。

(4) 管理者端末装置 11 からの確認 OK の選択を受け付けて、取得した課金管理情報の利用限度時間に相当する利用精算金額を番組・CM コンテンツ情報提供システムの管理機構の取引口座からリスナーの取引口座へ振替える利用精算金額振替依頼情報を金融機関コンピュータ 3 へ送信する。

(5) 課金管理情報の精算時間に利用限度時間を加算し、課金管理情報の利用限度時間にゼロを設定して課金管理テーブル 28 を更新し、課金明細情報を課金明細テーブル 29 に登録する。

【0057】次に、利用者端末装置 1 の処理手段 40 である電話着信通知手段 41 の処理手順について説明する。

【0058】電話着信通知手段 41 は、利用者端末装置 1 がラジオ放送を受信中に、電話の着信通知に応答して、利用者端末装置 1 に着信音と着信通知メッセージを出力する。

【0059】以下に処理手順を詳細に説明する。

(1) 利用者端末装置 1 が備える端末装置処理手段からの電話着信通知要求信号に応答して、ラジオ放送受信中に電話の着信通知を受け付けるまでウェイトする。

(2) ウェイトが解除されたら、利用者端末装置 1 からの割り込み入力による電話着信通知解除要求信号を受け付けるまで、利用者端末装置 1 が備える着信音と着信通知メッセージを利用者端末装置 1 出力する。

【0060】以上、本発明の一実施の形態を詳細に説明したが、本発明は、本実施の形態に限られるものではない。本発明の趣旨から逸脱しない範囲内で多様に変更実施することが可能である。

【0061】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のラジオ放送に於ける番組・CM に関する情報提供システムによれば、データベースに記録した番組・CM についてのコンテンツ情報は、音楽番組と情報番組とニュース番組と CM に於いて、番組ダイジェストと出演者と楽曲と場所と店舗と旅館と施設と機関と団体と自治体と商品とランキングと賞品とプレゼントとイベントとキャンペーンと商品販売などの情報から構成されていることにより、リスナーは、ラジオ放送中の番組・CM の中で、知りたいことがあった場合、この情報提供システムに登録された利用者端末装置よりラジオ放送の番組および CM について、リスナーの要求に応じた情報を検索することができ、受信中の番組・CM の番組名、CM 名を聞き漏らしても、受信中の番組・CM に設定された番組・CM を特定するコードにより、特定した番組・CM に関連する体

系化された情報階層の構造を有するデータベースを検索して目的の情報を絞り込むことによって、必要な時に容易に目的の情報を取得することができる。

【0062】また、リスナーは、利用者端末装置より、各放送局が現在、通信ネットワーク上に送信しているラジオ放送の番組または、これから送信予定の番組の中で、リスナーが希望する番組種類に属する番組放送スケジュール情報を検索することができ、検索した番組放送予定一覧の中で聞きたい番組が放送される日時に聞くことができない場合、若しくは、繰り返し聞きたい番組が放送される場合は、その番組の録音を予約して、後で録音を予約した番組を聞くことができる。

【0063】さらに、リスナーは、ラジオ放送中の番組・CMの中で、気に入った音楽が放送された場合、その音楽を利用者端末装置にダウンロードして電話機の着信メロディとして利用することができ、ラジオ放送中の番組・CMに関する要望や感想やプレゼントの申込を利用者端末装置より電子メールにて送信したい場合、電子メールの送信先である番組担当窓口またはスポンサーのCM担当窓口のメールアドレスを必要な時に容易に取得することができる。

【0064】さらにまた、リスナーがこのラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報の提供を受けるに当たって、前もってリスナーが利用予定時間に対する利用料金を振込み、情報検索時の利用者端末装置に出力した利用限度時間をリスナー自身が監視することにより、過剰利用を抑止することができ、中断もしくは脱会する場合には、残った利用予定時間に相当する利用料金を精算することができる。

【0065】またさらに、リスナーが携帯無線電話に接続したイヤホンを使用してラジオ放送を聞いている最中に、電話の着信があった場合は、携帯無線電話に送信した着信音と着信通知メッセージにより、リスナーに電話の着信の告知を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システムの構成を示す模式図である。

【図2】本発明の情報管理装置の処理手段群の処理の流れを示す流れ図である。

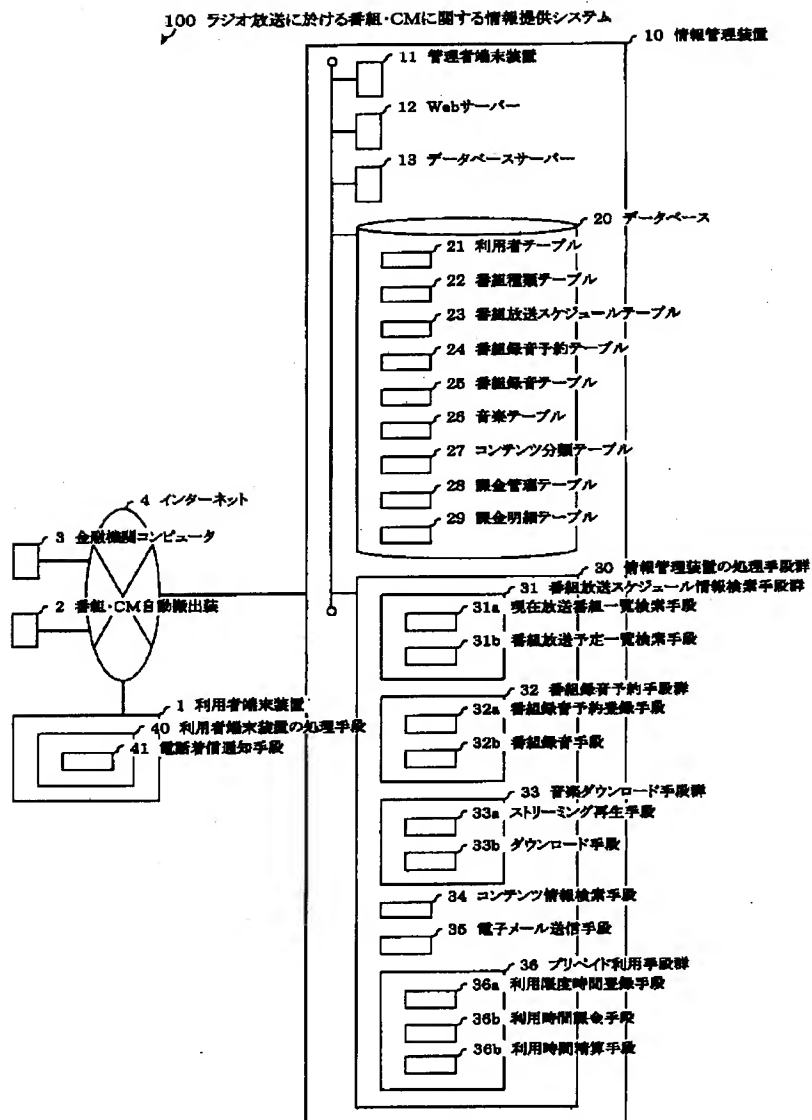
【図3】本発明の情報管理装置の処理手段群の処理の流

れを示す流れ図である。

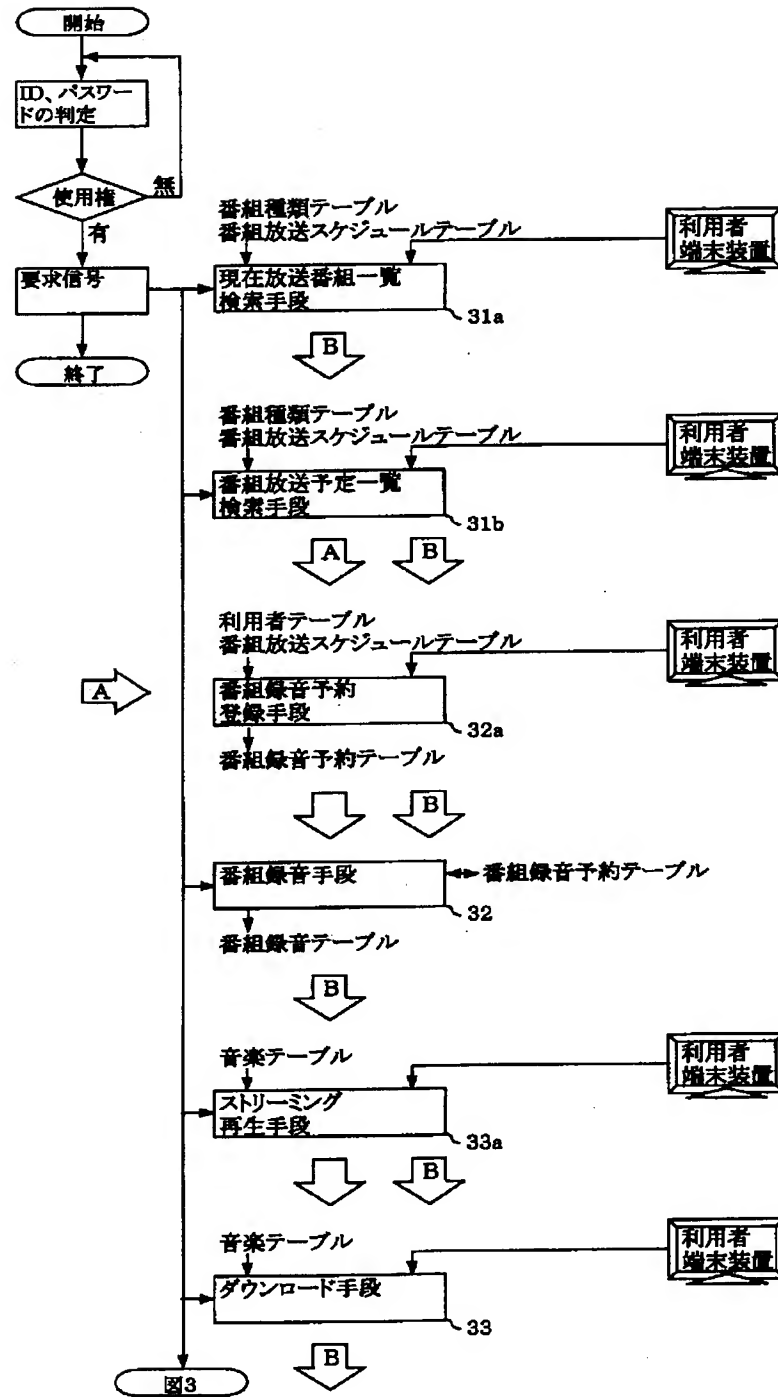
【符号の説明】

- 1 利用者端末装置
- 2 番組・CM自動搬出装置
- 3 金融機関コンピュータ
- 4 インターネット
- 10 情報管理装置
- 11 管理者端末装置
- 12 Webサーバー
- 13 データベースサーバー
- 20 データベース
- 21 利用者テーブル
- 22 番組種類テーブル
- 23 番組放送スケジュールテーブル
- 24 番組録音予約テーブル
- 25 番組録音テーブル
- 26 音楽テーブル
- 27 コンテンツ分類テーブル
- 28 課金管理テーブル
- 29 課金明細テーブル
- 30 情報管理装置の処理手段群
- 31 番組放送スケジュール情報検索手段群
- 31a 現在放送番組一覧検索手段
- 31b 番組放送予定一覧検索手段
- 32 番組録音予約手段群
- 32a 番組録音予約登録手段
- 32b 番組録音手段
- 33 音楽ダウンロード手段群
- 33a ストリーミング再生手段
- 33b ダウンロード手段
- 34 コンテンツ情報検索手段
- 35 電子メール送信手段
- 36 プリペイド利用手段群
- 36a 利用限度時間登録手段
- 36b 利用時間課金手段
- 36c 利用時間精算手段
- 40 利用者端末装置の処理手段
- 41 電話着信通知手段
- 100 ラジオ放送に於ける番組・CMに関する情報提供システム

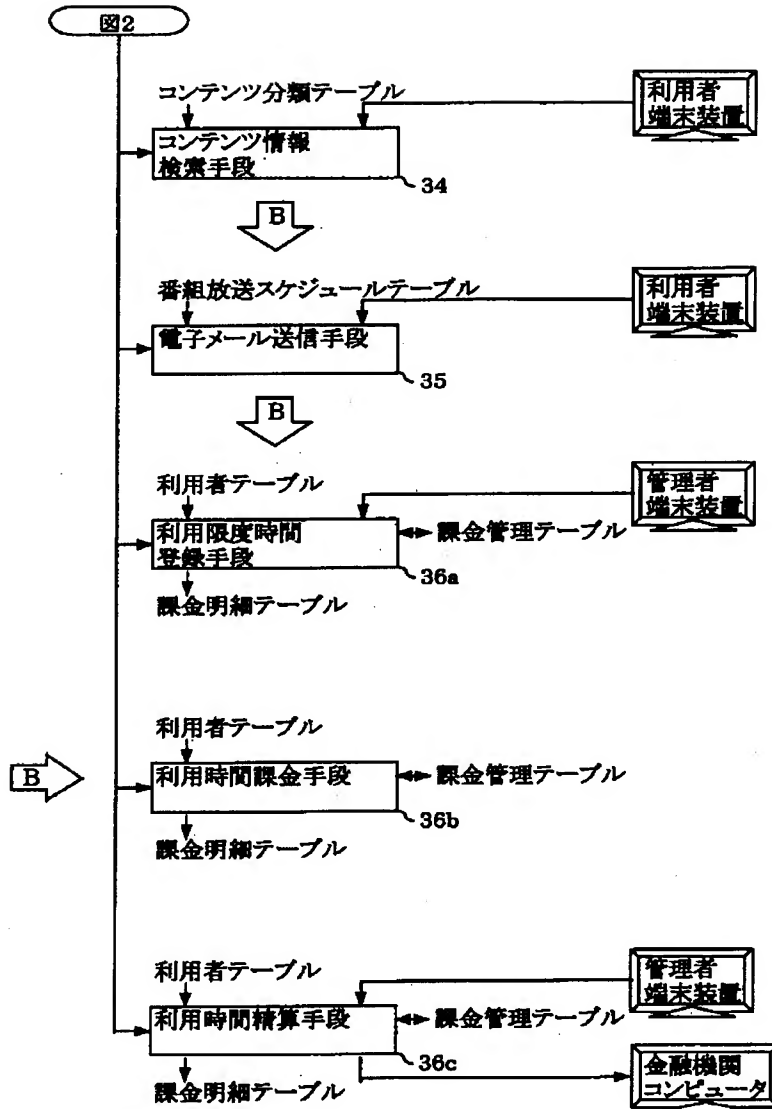
【图 1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

H 0 4 H 1/00

1/02

識別記号

F I

H 0 4 H 1/00

1/02

テマコード' (参考)

C

F